

【平成24年度補正予算】

官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業

「はりま酒文化ツーリズム推進事業」

に係る調査業務 報告書

平成26年3月

国土交通省近畿運輸局

目 次

(本編)

第1章 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 調査対象案件の提案内容	3
第2章 事業行程・実施体制の構築	3
1. 地域の実施体制の構築	3
2. 詳細な実施スケジュール	4
第3章 商品化に向けた観光資源の磨き上げ手法の検討	5
1. これまでの取り組みと課題	5
2. 確実な観光資源の磨き上げ手法の検討・実施	6
(1) キーパーソン集会	6
(2) マーケティング調査	8
(3) 観光プログラム開発研修会	25
3. 調査対象地域の魅力の情報発信の手法の検討・実施	27
(1) パンフレットの作成	27
(2) 媒体を活用した情報発信	29
(3) はりまの酒 展示ブース	31
(4) PRグッズ・着ぐるみ	33
(5) 来年度の商品造成に向けた取り組み	35
4. モニターツアーの造成	38
(1) モニターツアーの企画	38
(2) モニターツアーの造成	40
(3) モニターツアーの催行	49
第4章 業務遂行中における業務内容に関する報告	53
1. 取組の進捗状況の報告	53
2. 新聞、テレビ、雑誌等のメディア紹介	56
3. 効果指標の設定とその効果	62
第5章 目利きの派遣	63
1. 目利きの決定	63
2. 目利きの派遣	64
第6章 モニターツアーアンケート	65
1. モニターツアーアンケートの実施	65
2. 独自アンケートの実施	93
第7章 観光庁と連携して実施する業務	103
1. ポータルサイトでの情報発信に係る業務	103
2. 商談会やPRイベントへの参加に係る業務	113
第8章 まとめ	115

(資料編)

資料 1 調査対象案件「はりま酒文化ツーリズム推進事業」の提案内容

第1章 調査概要

1. 調査の目的

官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業第三者委員会で選定された「はりま酒文化ツーリズム推進事業」（以下、「調査対象案件」という）の提案内容に基づいて、取組を行う観光地への観光資源の「目利き」の派遣、観光資源を題材にモニターツアーの造成・実施及びアンケート調査等、観光資源の確実な商品化への手法を検討・実施する。

2. 調査の概要

調査対象案件の提案内容に基づき、以下の業務を実施した。

1. 調査対象案件の事業行程・実施体制の構築

○調査対象案件の提案内容に基づいて、提案者である播磨広域連携協議会及び関係者にヒアリングを行い、地域の取組実施体制を構築し、詳細な取組スケジュールを取りまとめた。

2. 商品化に向けた観光資源の磨き上げ手法の構築

○調査対象地域の提案内容に基づいて確実な商品化へ向けた観光資源の磨き上げ及び地域の魅力の情報発信について、その手法を検討し、実施した。また、磨き上げた観光資源を活用して旅行商品化し、モニターツアーの企画、造成、募集、催行に協力した。

3. 業務遂行状況における業務内容に関する報告

○取組みの進捗状況、目利きの活動状況について、定期的（2週間に1回）に報告した。また、地域が自ら行う情報発信のアウトプットや、地域の取組が新聞等メディアでの紹介情報を、その都度、報告した。

○取組みの効果を把握する上で適当な指標を設定し、効果検証を行った。

4. 目利きの派遣

○調査対象地域が希望するあおい有紀氏（酒サムライ）を目利きとし、調査対象地域へ派遣した。

5. モニターツアーアンケート

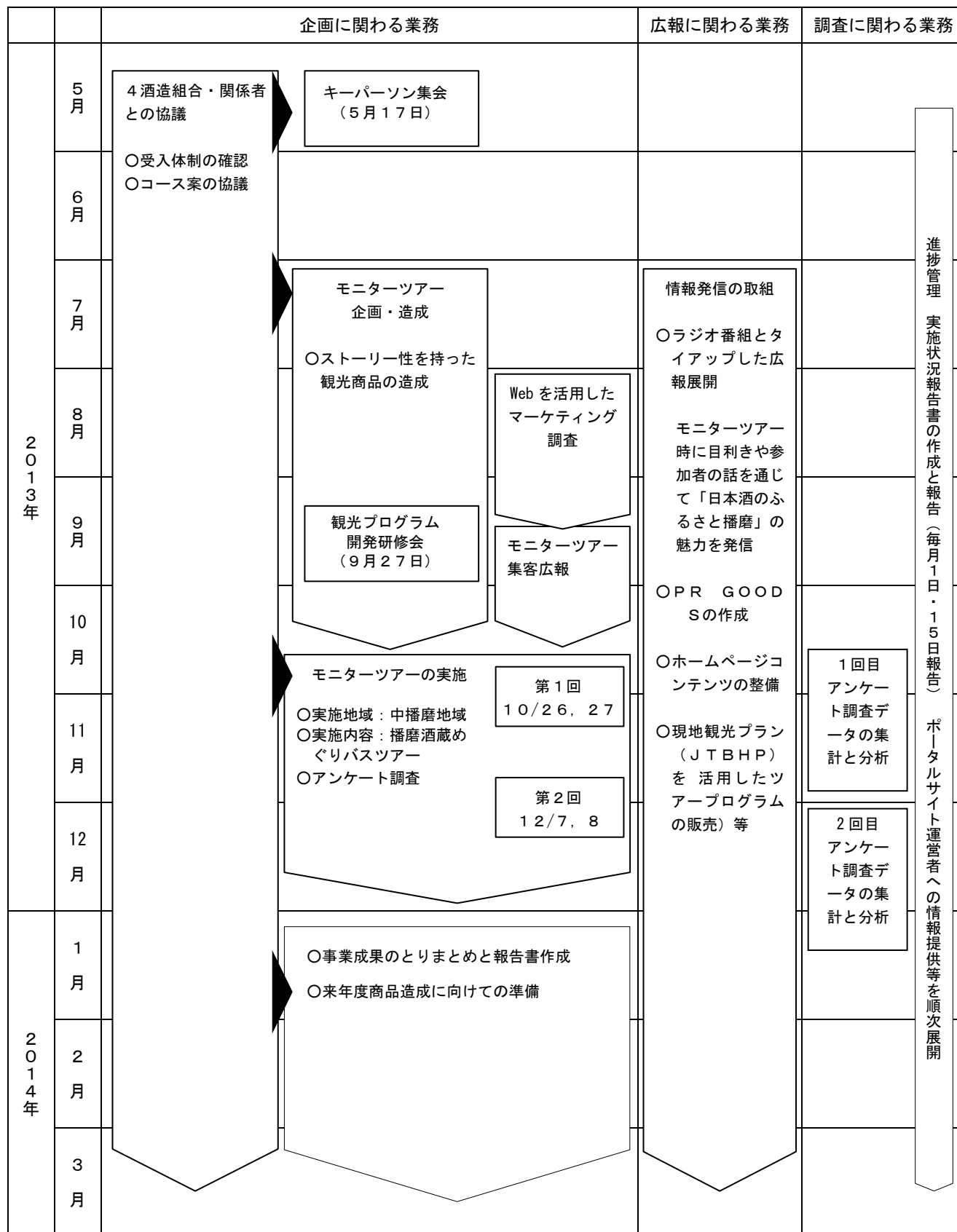
○モニターツアー参加者に対してアンケートを実施し、回収したアンケートを集約し、必要枚数等の確認を行った。

6. その他観光庁と連携して実施する業務

○観光資源の商品化に向けて、ポータルサイトでの情報発信や、ポータルサイトに掲載するための映像素材の提供を行った。

○また、商談会やPRイベントの展示内容の検討、展示物の提供を行った。

【事業フロー図】



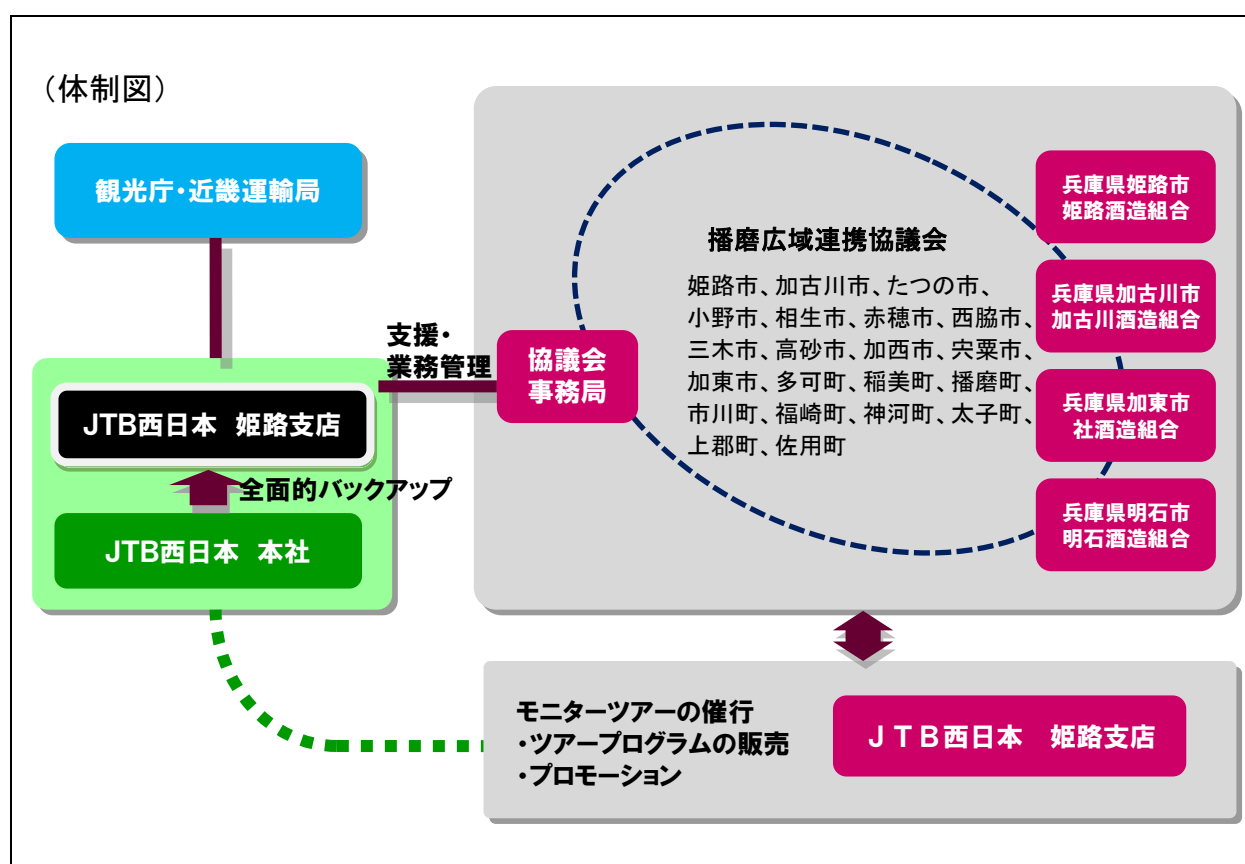
3. 調査対象案件の提案内容
資料 1 として、添付する。

第 2 章 事業行程・実施体制の構築

調査対象地域の提案者に対し提案内容のヒアリングを実施した上で、地域の取組実施体制の構築、詳細な取組スケジュールをとりまとめた。

1. 地域の取組体制の構築

提案者である播磨広域連携協議会の各自治体、播磨地域 4 酒造組合など関係者へヒアリングを行い、取り組み体制を構築した。



2. 詳細な取組スケジュール

事業の実施に向けて、まずは、モニターツアーに向けた課題整理と関係機関調整を実施した。そして、播磨地域4酒造組合との協議を中心に、受け入れ体制やコース案・実施時期等について検討を行った。モニターツアーの実施に際しては、目利きや関係者による資源の研ぎ直しを踏まえて10月と12月の計2回実施した。その後、モニターツアーの振り返り、事業成果のとりまとめを行った。

また、モニターツアーと並行して、地域の情報発信に関わる業務として、PRグッズの作成やラジオ番組とタイアップした広報展開等を行なった。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画											
4酒造組合、関係者との協議											
(ツアー企画に向けた地域資源の磨き上げ)											
マーケティング調査											
キーパーソン集会	● 5/17										
観光プログラム開発研修会					● 9/27						
モニターツアー企画・造成											
モニターツアー広報											
モニターツアーの実施						● 10/26, 27		● 12/7, 8			
アンケート調査集計と分析											
広報											
情報発信の取り組み									●PR展 1/22	●地元 学園祭 2/1	
とりまとめ											
来年度商品造成に向けた準備											

第3章 商品化に向けた観光資源の磨き上げ手法の検討

1. これまでの取り組みと課題

従来は、各自治体が単独で、集客の目玉となるものを中心に観光客誘致などの観光施策を進めてきたが、それぞれの発信が弱く通過型の観光が主体となっており、魅力ある周遊ルートの構築が課題であった。

その課題を改善するため、播磨広域の情報発信を目的とした「播磨広域連携協議会」を設立。協議会で議論を重ねる中、広範囲に発信できる素材として、地域内に存在する酒蔵を見出した。

酒蔵は、これまで観光という観点からは活かされていなかったが、「播磨国風土記」に酒造りの製法が初めて登場し、播磨出身の母里太兵衛が酒豪で有名であったことなど、歴史、文化の面からも様々な展開が期待できることから、この地域資源を活用した周遊コースを作り、大都市圏からの集客増加も目指した継続的な事業として展開していくという方向性が見えてきた。

また、地域の酒蔵も酒蔵独自ではなく、組合一体となって展開をしていく風土ができつつあったため、自治体との協力の元、「はりま酒文化ツーリズムツーリズム」を展開する方向性が固まった。

2. 確実な観光資源の磨き上げ手法の検討・実施

播磨広域連携協議会及び関係者と協議を行ない、「播磨は日本酒のふるさと」を地域ブランドとして位置づけ、観光資源の発掘・磨き上げを行なった。

(1) キーパーソン集会

「はりま酒文化ツーリズム」事業の立ち上げに当たって、キーパーソン集会を開催し、日本酒文化のカリスマ的な外部キーパーソンを招聘して先進的事例の紹介や提言を行なうとともに、播磨地域の酒蔵や観光事業者など酒文化ツーリズムの担い手から取り組みに向けた状況報告と抱負の発表を行なった。

①タイトル

播磨は日本酒のふるさと～はりま酒文化ツーリズムキーパーソン集会一合一会～

②目的

「播磨は日本酒のふるさと」を播磨の地域ブランドとして位置づけ、酒蔵や播磨の食・歴史・文化を滞在型観光資源として振興し、播磨を全国、全世界に発信する。

③日時

平成25年5月17日（金） 14：30～16：30

④場所

姫路市市民会館 3F 中ホール

⑤主催・協力

主催：播磨広域連携協議会、はりま酒文化ツーリズム協議会（播磨地域4酒造組合）

協力：(株)JTB西日本、神姫バス(株)

⑥次第

(1) 主催者あいさつ（5分） 姫路市副市長 飯島義雄氏

(2) あいさつ及び酒蔵ツーリズム・国の施策説明（10分）

観光庁地域振興部長 瀧本 徹氏

(3) 基調講演（各20分）

あおい有紀氏（酒サムライ、アナウンサー、一級フードアナリスト）

平出淑恵氏（株式会社コーポ・サチ代表取締役・酒サムライコーディネーター）

(4) 外部キーパーソン・スピーチ（10分）

(5) 地元キーパーソン・スピーチ4名（各10分 計40分）

(6) 質疑応答（10分）

(7) 総括（5分） 瀧本徹観光庁地域振興部長

⑦キーパーソン

(1) 外部キーパーソン

- ・ 峰島総生氏（NHKエンタープライズ エグゼクティブプロデューサー）

(2) 地元キーパーソン

- ・ 田中康博氏（姫路酒造組合理事長 田中酒造場代表）
- ・ 川村泰正氏（株式会社JTB西日本西日本姫路支店長）
- ・ 坪田一夫氏（神姫バス株式会社常務取締役）
- ・ 段 守 （播磨広域連携協議会事務局 姫路市企画政策推進室参事）

⑧参加者

播磨広域連携協議会構成市町、播磨地域4酒造組合、観光関係者など
計84名



<概要>

それぞれの発表者がそれぞれの立場から、日本酒やツーリズムに対しての現状と取り組みについて発表した。

その結果、共通認識をもつことができ、自治体、観光関係者、酒蔵が協力して「はりまは日本酒ふるさと」を発信していくことを確認した。

また、今まで交わることのなかった関係者が、観光振興という目的のもとで一堂に会して議論し、また、懇親を深める機会を得た事は、大きな成果であった。

(2) マーケティング調査

「はりま酒文化ツーリズム」の実施に向けて、観光マーケティング調査として、観光に関するWebアンケート調査を実施した。主に、日帰り旅行・宿泊を伴う国内旅行、播磨地区の観光、酒蔵ツーリズムについて、集計・分析を行なった。

JTBの会員組織は、「旅好きな人々の集まり」であり、その声をリサーチし、ニーズを分析することが効果的であることから、JTB旅カード会員（JTBグループ社員及び一般消費者）を対象とした。JTB社員は旅行商品造成の立場であるため、旅行代理店の目線から分析ができ、一般消費者と双方から分析することを目的とした。

①アンケート回答状況および回答者属性

●配信対象

JTB旅カード会員のうち、以下に居住する2グループ。合計25,519名。

①京阪神地区（計 8319件）	②それ以外（計 17200件）
岡山県 565件	愛知県 2296件
京都府 1553件	宮城県 706件
大阪府 3444件	広島県 1069件
徳島県 112件	神奈川県 4565件
奈良県 632件	東京都 7102件
兵庫県 2013件	福岡県 1462件

●アンケート配信日

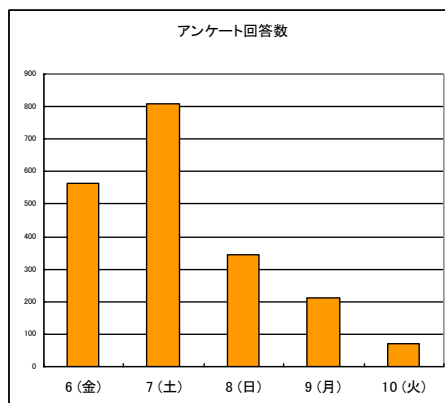
2013年9月6日（金） 18:00～

メルマガにてWEBアンケートフォームへ誘導

●回答数

上限を2000件とし、9月10日（火）時点で到達した。

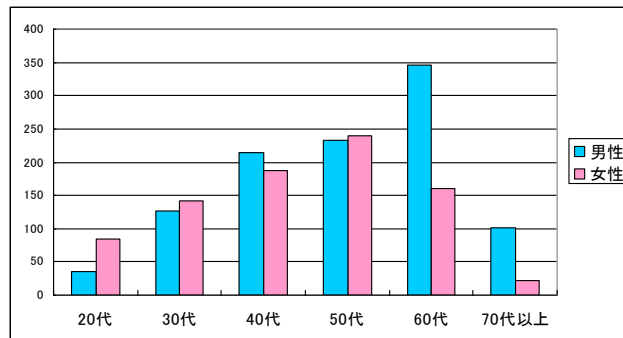
	回答数	累計
6（金）	566	566
7（土）	807	1373
8（日）	343	1716
9（月）	213	1929
10（火）	71	2000



●有効回答数

1893名（差分107名は回答者による会員番号の入力ミスにより集計不可）

●今回アンケート回答者の年齢構成および性別

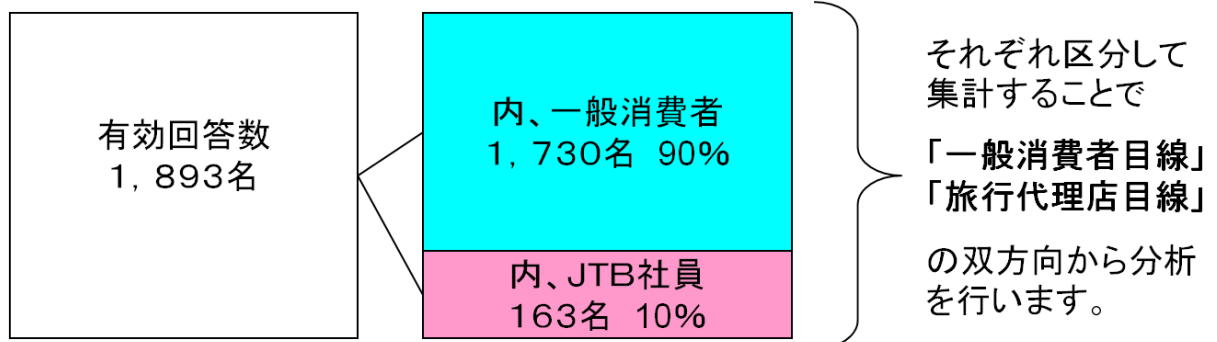


●今回アンケート回答者の居住地構成

居住地方	集計
2.東北地方	44
4.首都圏	851
5.中部地方	169
6.近畿地方	590
7.中国四国地方	118
8.九州地方	106
不明	15
総計	1893

アンケート有効回答者のうち、一般消費者と JTB グループ社員の比率

●J T Bグループ社員比率



●カード入会歴

契約期間	有効回答数
1年未満	339
1年	358
2年	242
3年	240
4年	285
5年	82
6年以上	347
合計	1,893

入会歴が比較的浅い(5年以内)の回答者についてはカード入会時点の属性情報(家族構成、年収等)のデータも分析対象とします。
(有効回答数の77%: 1,464名が該当)

②日帰り旅行・宿泊を伴う国内旅行の属性別集計データ

●宿泊を伴う国内旅行の頻度（一般消費者のみ）

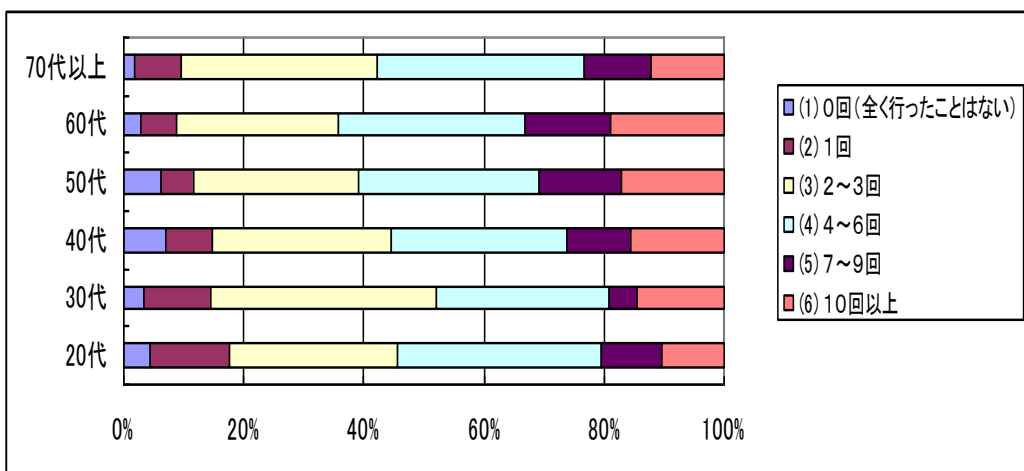
30・40代の頻度が比較的少なく、なかでも独身・親同居者は少ない傾向が見られる。

問2－① 1泊2日以上の国内旅行に何回程度行きましたか

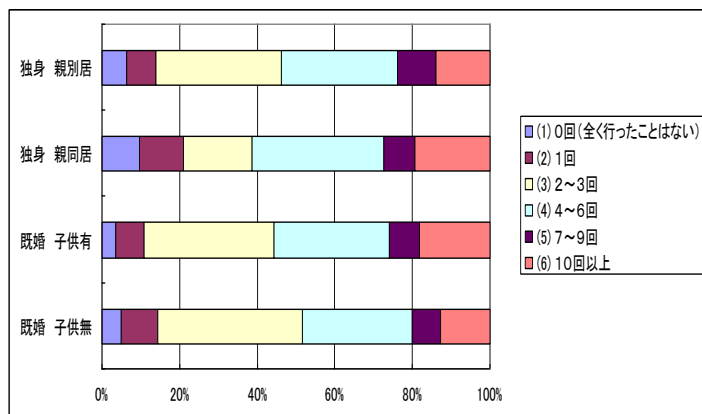
（一般消費者のうち、データ不備93名を除く1637名を集計）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
(1) 0回(全く行ったことはない)	3	7	25	26	13	2	76
(2) 1回	9	24	27	24	27	9	120
(3) 2～3回	19	81	105	116	124	38	483
(4) 4～6回	23	62	104	128	144	40	501
(5) 7～9回	7	10	37	58	65	13	190
(6) 10回以上	7	31	55	73	87	14	267
総計	68	215	353	425	460	116	1637

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
(1) 0回(全く行ったことはない)	4%	3%	7%	6%	3%	2%	5%
(2) 1回	13%	11%	8%	6%	6%	8%	7%
(3) 2～3回	28%	38%	30%	27%	27%	33%	30%
(4) 4～6回	34%	29%	29%	30%	31%	34%	31%
(5) 7～9回	10%	5%	10%	14%	14%	11%	12%
(6) 10回以上	10%	14%	16%	17%	19%	12%	16%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



30代、40代 家族構成別



●日帰り旅行の頻度

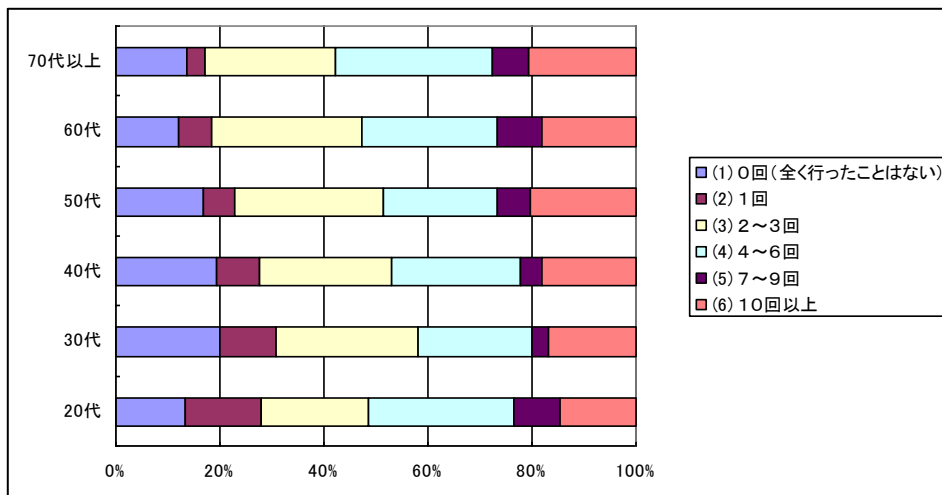
宿泊を伴う旅行に比べて全体的に未経験が多く、特に30・40代では未経験が多い。

問1－① 日帰り旅行に何回程度行きましたか？

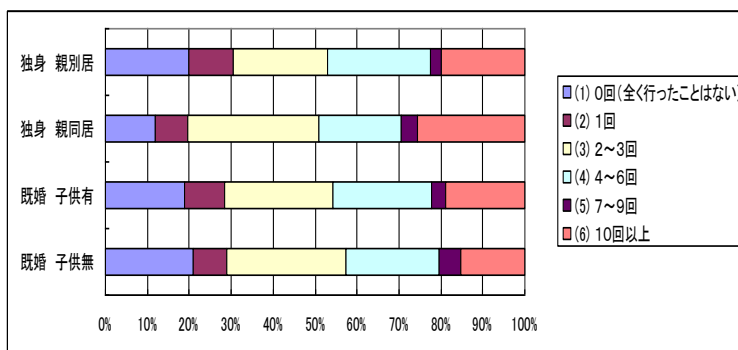
(一般消費者のうち、データ不備92名を除く1638名を集計)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
(1) 0回(全く行ったことはない)	9	43	68	71	55	16	262
(2) 1回	10	23	29	26	30	4	122
(3) 2～3回	14	59	90	121	133	29	446
(4) 4～6回	19	47	87	94	120	35	402
(5) 7～9回	6	7	15	27	39	8	102
(6) 10回以上	10	36	64	86	84	24	304
総計	68	215	353	425	461	116	1638

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
(1) 0回(全く行ったことはない)	13%	20%	19%	17%	12%	14%	16%
(2) 1回	15%	11%	8%	6%	7%	3%	7%
(3) 2～3回	21%	27%	25%	28%	29%	25%	27%
(4) 4～6回	28%	22%	25%	22%	26%	30%	25%
(5) 7～9回	9%	3%	4%	6%	8%	7%	6%
(6) 10回以上	15%	17%	18%	20%	18%	21%	19%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



30代、40代 家族構成別



●宿泊を伴う国内旅行の同行者

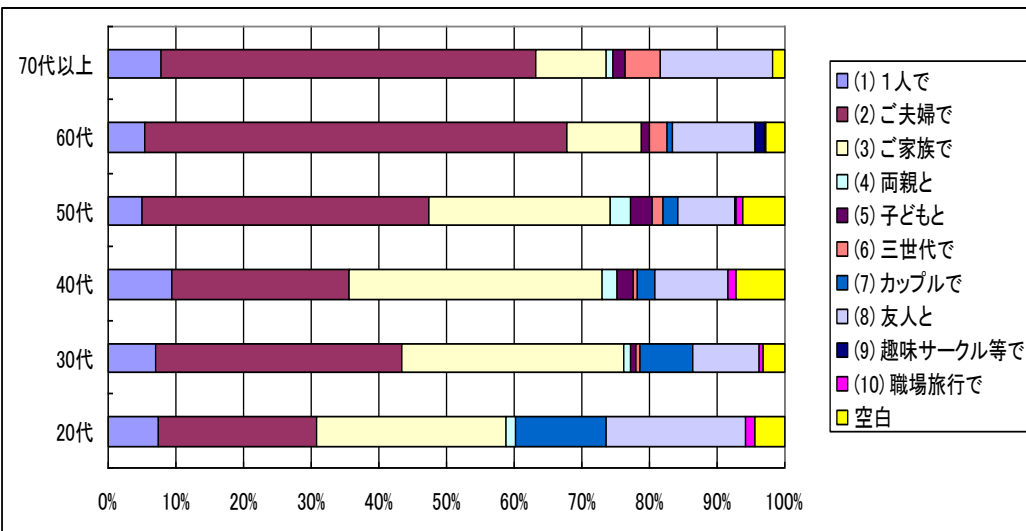
50代と60代を境に夫婦旅行が増加し、家族旅行が減少する。
友人との旅行は20代で多く、70代以上で再度増加している。

問2-③ その旅行にはどなたと行われましたか？

(一般消費者のうち、データ不備108名を除く1622名を集計)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
(1) 1人で	5	15	33	21	25	9	108
(2) ご夫婦で	16	78	91	179	284	63	711
(3) ご家族で	19	70	130	113	50	12	394
(4) 両親と	1	2	8	13		1	25
(5) 子どもと		2	8	13	6	2	31
(6) 三世代で		1	2	7	12	6	28
(7) カップルで	9	17	9	9	3		47
(8) 友人と	14	21	38	36	56	19	184
(9) 趣味サークル等で				1	6		7
(10) 職場旅行で	1	1	4	4	1		11
空白	3	7	25	26	13	2	76
総計	68	214	348	422	456	114	1622

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
(1) 1人で	7%	7%	9%	5%	5%	8%	7%
(2) ご夫婦で	24%	36%	26%	42%	62%	55%	44%
(3) ご家族で	28%	33%	37%	27%	11%	11%	24%
(4) 両親と	1%	1%	2%	3%	0%	1%	2%
(5) 子どもと	0%	1%	2%	3%	1%	2%	2%
(6) 三世代で	0%	0%	1%	2%	3%	5%	2%
(7) カップルで	13%	8%	3%	2%	1%	0%	3%
(8) 友人と	21%	10%	11%	9%	12%	17%	11%
(9) 趣味サークル等で	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%
(10) 職場旅行で	1%	0%	1%	1%	0%	0%	1%
空白	4%	3%	7%	6%	3%	2%	5%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



●日帰り旅行の同行者

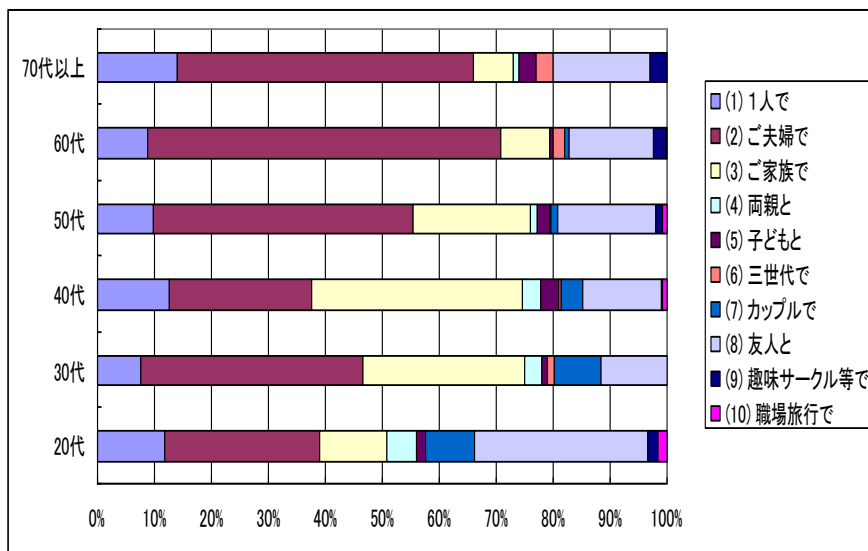
宿泊を伴う旅行に比べ一人旅の経験率が高く、友人同士の旅行も多い。

問 1－③ その旅行にはどなたと行かれましたか？

(一般消費者のうち、データ不備 97 名を除く 1633 名を集計)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
(1) 1人で	7	13	36	35	35	14	140
(2) ご夫婦で	16	67	71	161	249	52	616
(3) ご家族で	7	49	105	73	34	7	275
(4) 両親と	3	5	9	4		1	22
(5) 子どもと	1	2	9	8	3	3	26
(6) 三世代で		2	1	1	8	3	15
(7) カップルで	5	14	11	4	3		37
(8) 友人と	18	20	39	61	59	17	214
(9) 趣味サークル等で	1		1	4	9	3	18
(10) 職場旅行で	1		2	3	1		7
空白	9	43	68	71	56	16	263
総計	68	215	352	425	457	116	1633

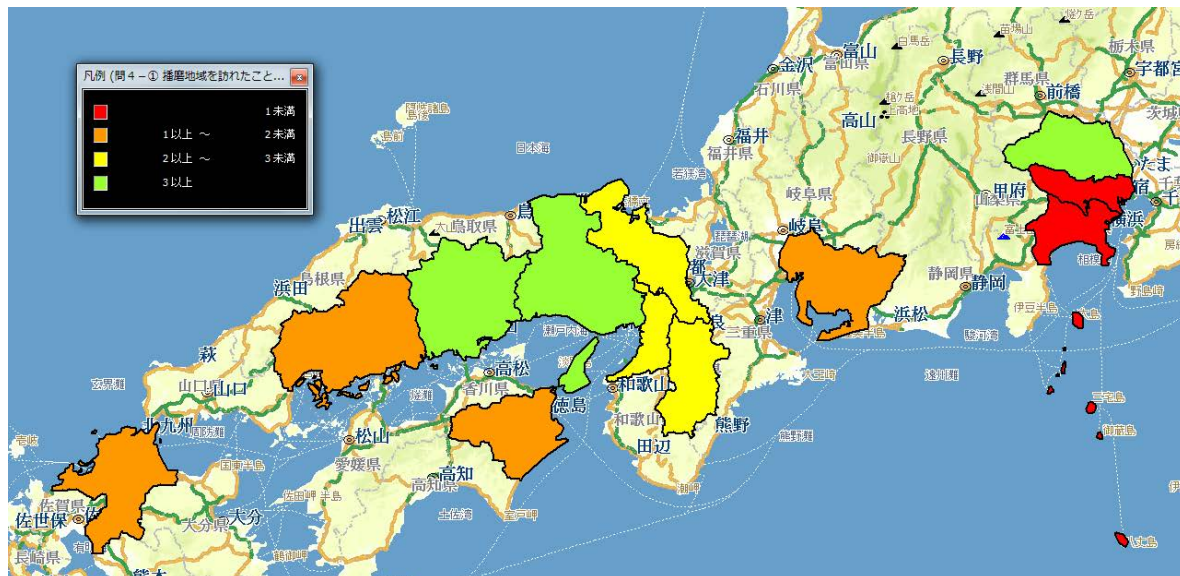
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	総計
(1) 1人で	10%	6%	10%	8%	8%	12%	9%
(2) ご夫婦で	24%	31%	20%	38%	54%	45%	38%
(3) ご家族で	10%	23%	30%	17%	7%	6%	17%
(4) 両親と	4%	2%	3%	1%	0%	1%	1%
(5) 子どもと	1%	1%	3%	2%	1%	3%	2%
(6) 三世代で	0%	1%	0%	0%	2%	3%	1%
(7) カップルで	7%	7%	3%	1%	1%	0%	2%
(8) 友人と	26%	9%	11%	14%	13%	15%	13%
(9) 趣味サークル等で	1%	0%	0%	1%	2%	3%	1%
(10) 職場旅行で	1%	0%	1%	1%	0%	0%	0%
空白	13%	20%	19%	17%	12%	14%	16%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



③播磨地区の訪問経験有無に関する属性別集計データ

●西日本都道府県別 播磨地区への平均訪問回数

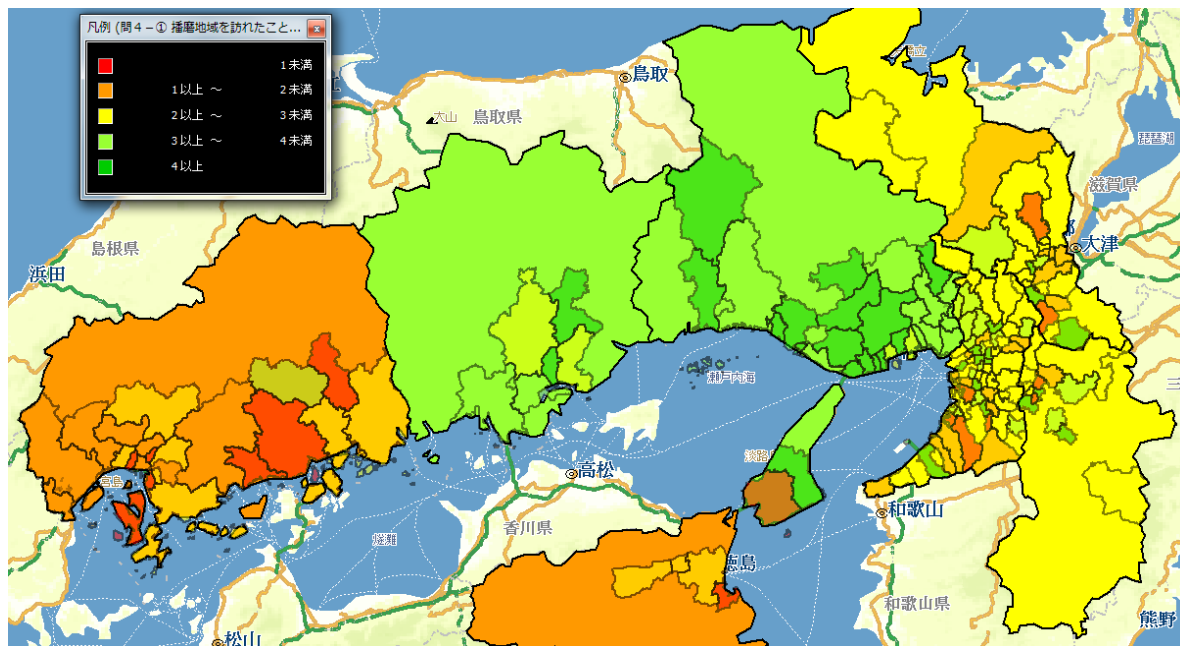
播磨地区から遠ざかるにつれて平均訪問回数があり、東京・神奈川では1回未満(訪問実績なし)となっている。



埼玉県平均訪問回数が多いのは、サンプル数極少による異常値

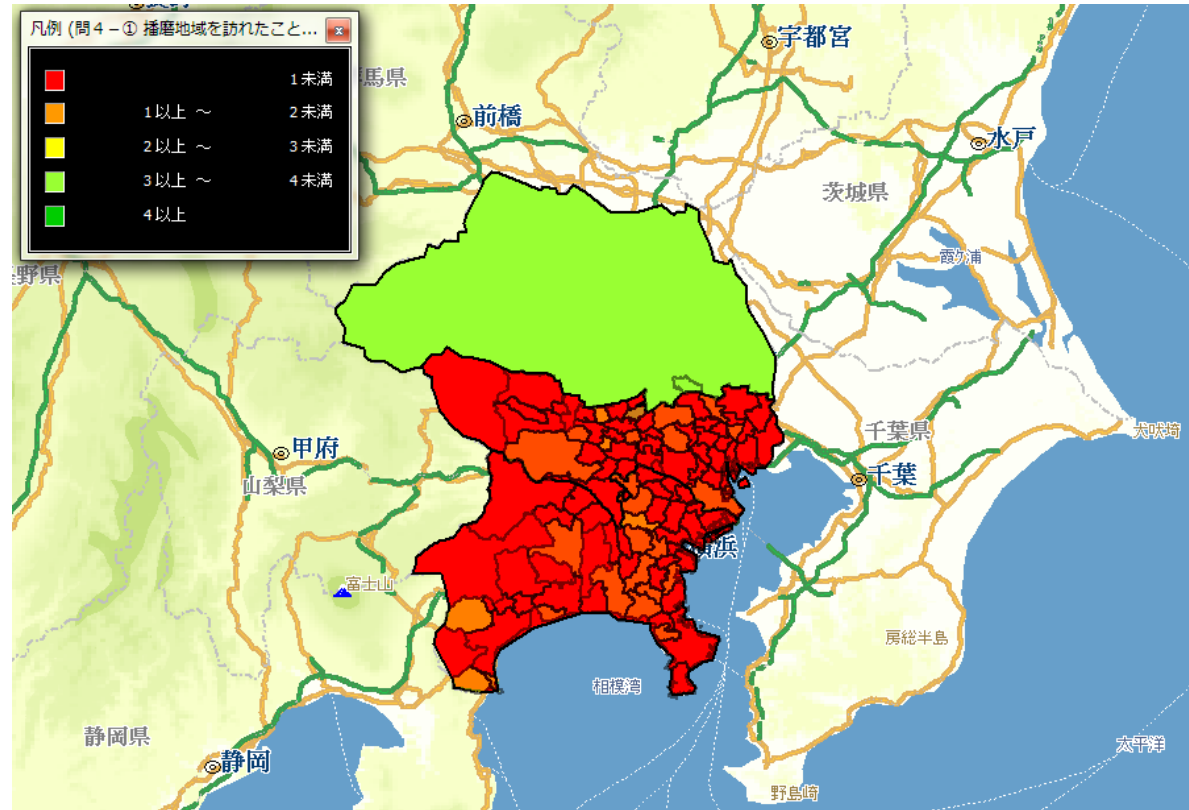
●市町村別 播磨地区への平均訪問回数①

市町村別に集計した場合でも、距離の近さと平均訪問回数の多さには正相関性が見られる。



●市町村別 播磨地区への平均訪問回数②

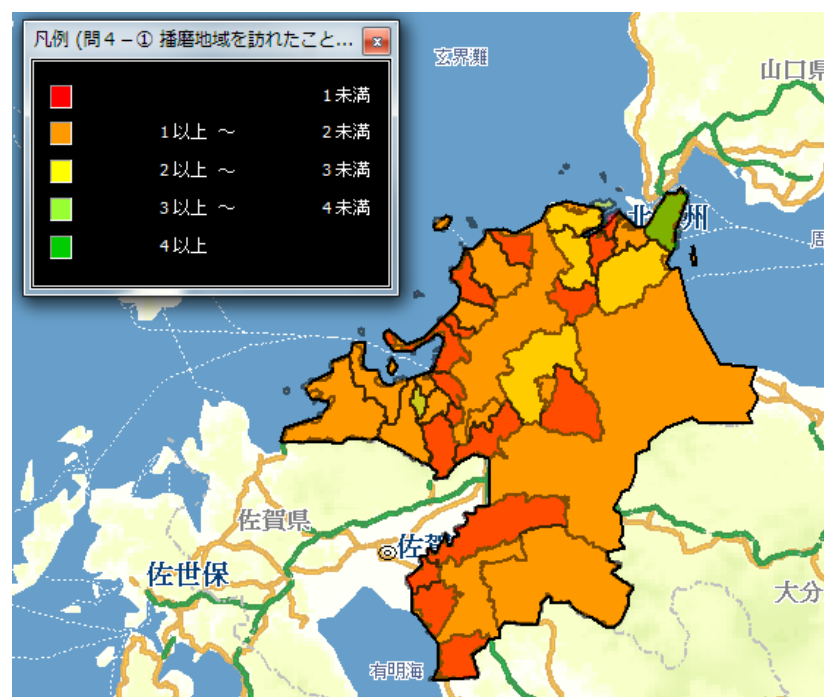
東京都および神奈川県では、都心部・居住地区・郊外地区を問わず、訪問回数の多少に違いが見られない。



埼玉県の平均訪問回数が多いのは、サンプル数極少による異常値

●市町村別 播磨地区への平均訪問回数③

福岡県では、東京都・神奈川県と比較して、播磨地区への訪問実績者が多く存在している。



③播磨地区の観光コンテンツ知名度に関する属性別集計データ

●北播磨地区および東播磨地区 コンテンツ知名度（播磨地区訪問歴あり、一般消費者）

設問	経験あり+知っている		知らない
	訪問経験あり	知っている	
北播磨地区 にしわき緯経度地球科学館(西脇市)	1.53%	4.88%	6.41%
北播磨地区 ひまわりの丘公園(小野市)	2.93%	4.27%	7.20%
北播磨地区 やしろの森公園(加東市)	1.40%	1.59%	2.99%
北播磨地区 やしろ鴨川の里(加東市)	0.43%	1.04%	1.47%
北播磨地区 エアレーベン八千代(多可町)	0.18%	0.85%	1.04%
北播磨地区 エコミール加美(多可町)	0.12%	0.67%	0.79%
北播磨地区 北条の宿(加西市)	0.37%	1.10%	1.47%
北播磨地区 ガルテン八千代(多可町)	0.49%	0.92%	1.40%
北播磨地区 ビリーンプピア三木(三木市)	8.42%	8.36%	16.79%
北播磨地区 パナソニックテクノロジーセンター(加東市)	0.37%	2.63%	2.99%
北播磨地区 加西天然温泉根日姫の湯(加西市)	1.04%	1.71%	2.75%
北播磨地区 岩田神棚田(多可町)	0.31%	0.98%	1.28%
北播磨地区 古川温泉よかたん(三木市)	2.32%	2.08%	4.40%
北播磨地区 旧玉置家住宅(三木市)	0.61%	0.98%	1.59%
北播磨地区 旧来住家住宅(西脇市)	0.31%	1.10%	1.40%
北播磨地区 三木山森林公園(三木市)	2.32%	1.59%	3.91%
北播磨地区 国宝・浄土時(小野市)	2.50%	2.99%	5.49%
北播磨地区 国宝・朝光寺(加東市)	1.53%	2.38%	3.91%
北播磨地区 三木ホースランドパーク(三木市)	1.83%	3.48%	5.31%
北播磨地区 三木市立金物資料館(三木市)	1.40%	1.77%	3.17%
北播磨地区 三木湯の山街道(三木市)	0.37%	1.22%	1.59%
北播磨地区 山田錦の館(三木市)	1.34%	2.63%	3.97%
北播磨地区 杉原紙・和紙博物館(多可町)	0.61%	1.34%	1.95%
北播磨地区 滝野温泉「ぼかぼ」(加東市)	1.89%	2.14%	4.03%
北播磨地区 東条湖おもちゃ王国(加東市)	6.84%	12.88%	19.72%
北播磨地区 闘竜灘(加東市)	2.01%	1.40%	3.42%
北播磨地区 東はりま日時計の丘公園(西脇市)	2.81%	3.48%	6.29%
北播磨地区 播州織工房館(西脇市)	0.31%	1.04%	1.34%
北播磨地区 播州清水寺(加東市)	5.07%	2.08%	7.14%
北播磨地区 播磨中央公園(加東市)	3.79%	1.83%	5.62%
北播磨地区 兵庫県立フラワーセンター(加西市)	11.66%	7.14%	18.80%
北播磨地区 兵庫県立三木総合防災公園(三木市)	1.34%	2.44%	3.79%
北播磨地区 法華山一乗寺(加西市)	4.27%	2.01%	6.29%
北播磨地区 北はりま田園空間博物館(多可町)	0.37%	0.85%	1.22%
北播磨地区 羅漢寺・五百羅漢(加西市)	4.76%	6.47%	11.23%
東播磨地区 加古大池(稲美町)	2.01%	1.59%	3.60%
東播磨地区 魚の棚商店街(明石市)	14.53%	3.91%	18.44%
東播磨地区 高砂神社(高砂市)	2.93%	4.40%	7.33%
東播磨地区 鶴林寺(加古川市)	4.64%	2.38%	7.02%
東播磨地区 兵庫県立考古博物館(播磨町)	2.01%	3.48%	5.49%
東播磨地区 明石公園(明石城)(明石市)	18.32%	10.01%	28.33%
東播磨地区 明石市立天文科学館(明石市)	14.96%	15.45%	30.40%

●西播磨地区および中播磨地区 コンテンツ知名度 (播磨地区訪問歴あり、一般消費者)

設問	経験あり+知っている			知らない
	訪問経験あり	知っている		
西播磨地区 うすくち龍野醤油資料館(たつの市)	4.40%	6.72%	11.11%	88.89%
西播磨地区 陰陽師の里(乙大木谷の棚田)(佐用町)	0.24%	1.95%	2.20%	97.80%
西播磨地区 塩の国・赤穂市立海洋科学館(赤穂市)	3.54%	5.31%	8.85%	91.15%
西播磨地区 花岳寺(赤穂市)	4.52%	2.01%	6.53%	93.47%
西播磨地区 最上山公園もみじ山(宍粟市)	0.79%	2.08%	2.87%	97.13%
西播磨地区 室津海駅館(たつの市)	1.28%	1.65%	2.93%	97.07%
西播磨地区 揖保乃糸資料館そうめんの里(たつの市)	4.46%	10.93%	15.38%	84.62%
西播磨地区 御津自然観察公園 世界の梅公園(たつの市)	2.56%	1.04%	3.60%	96.40%
西播磨地区 宿場町平福(佐用町)	1.89%	1.77%	3.66%	96.34%
西播磨地区 赤穂温泉(赤穂市)	10.99%	11.60%	22.59%	77.41%
西播磨地区 赤穂城跡(赤穂市)	16.36%	11.48%	27.84%	72.16%
西播磨地区 赤穂大石神社(赤穂市)	14.47%	7.63%	22.10%	77.90%
西播磨地区 あいおい白龍城ペーロン海館(相生市)	3.42%	3.36%	6.78%	93.22%
西播磨地区 播磨科学公園都市PR館オプトピア(たつの市)	0.92%	1.28%	2.20%	97.80%
西播磨地区 播磨国一の宮 伊和神社(宍粟市)	1.47%	0.98%	2.44%	97.56%
西播磨地区 斑鳩寺(太子町)	1.95%	4.70%	6.65%	93.35%
西播磨地区 兵庫県立西はりま天文台公園(佐用町)	2.44%	4.70%	7.14%	92.86%
西播磨地区 柳田國男生家(佐用町)	0.85%	3.48%	4.33%	95.67%
西播磨地区 龍野城跡(たつの市)	5.01%	4.82%	9.83%	90.17%
西播磨地区 播州山崎花菖蒲園(宍粟市)	2.38%	1.71%	4.09%	95.91%
西播磨地区 新舞子浜(たつの市)	3.97%	2.87%	6.84%	93.16%
中播磨地区 エル・ビレッジおおかわち(神河町)	0.24%	0.85%	1.10%	98.90%
中播磨地区 ヤマサ かまぼこ工房 夢鮮館(姫路市)	2.14%	2.99%	5.13%	94.87%
中播磨地区 塩田温泉(姫路市)	6.47%	6.47%	12.94%	87.06%
中播磨地区 亀山御坊本徳寺(姫路市)	0.98%	1.34%	2.32%	97.68%
中播磨地区 好古園(姫路市)	5.80%	2.50%	8.30%	91.70%
中播磨地区 三木家住宅(福崎町)	0.67%	1.34%	2.01%	97.99%
中播磨地区 手柄山公園(姫路市)	6.53%	4.40%	10.93%	89.07%
中播磨地区 書写山園教寺(姫路市)	11.17%	6.53%	17.70%	82.30%
中播磨地区 神崎農村公園ヨーデルの森	2.01%	3.66%	5.68%	94.32%
中播磨地区 大河内高原(峰山高原・砥峰高原)(神河町)	2.32%	1.83%	4.15%	95.85%
中播磨地区 的形潮干(姫路市)	3.30%	2.01%	5.31%	94.69%
中播磨地区 姫路城(姫路市)	45.24%	6.23%	51.47%	48.53%
中播磨地区 日本玩具博物館(姫路市)	3.48%	3.72%	7.20%	92.80%
中播磨地区 姫路セントラルパーク(姫路市)	16.12%	11.97%	28.08%	71.92%
中播磨地区 姫路市立美術館(姫路市)	4.76%	4.64%	9.40%	90.60%
中播磨地区 姫路文学館(姫路市)	2.38%	3.11%	5.49%	94.51%
中播磨地区 兵庫県立いえしま自然体験センター(姫路市)	0.79%	2.14%	2.93%	97.07%
中播磨地区 兵庫県立歴史博物館(姫路市)	3.05%	2.69%	5.74%	94.26%
中播磨地区 姫路城大天守修理見学施設(姫路市)	6.29%	10.68%	16.97%	83.03%
中播磨地区 圓山記念日本工芸美術館(姫路市)	0.55%	1.34%	1.89%	98.11%

⑤日本酒と観光に関する属性別集計データ

●全国の「酒蔵」が多く集まる地域について（一般消費者）

未回答を除いた集計ではあるが、全体的にネガティブよりはポジティブ派が多い。また、「訪ねたことがあり再訪したい」が合計１８０６名いるが、「再訪したくない」はわずか４３０名であった。（つまり８１％がリピートを希望している）

全国の酒造が集まる地域	ポジティブ		ネガティブ		未回答	合計回答者
	訪ねたことがあり、再訪したい	訪ねたことはないが、行ってみたい	訪ねたことはあるが、再訪したくない	訪ねたことはないし、行ってみたいとも思わない		
西播磨地域（明石市、加古川市、高砂市、加古郡）山田錦	123	327	27	330	22%	831
北播磨地域（三木市、小野市、加西市、西脇市、加東市、多可郡）	78	451	16	321	21%	772
中播磨地域（姫路市、神崎郡）	129	289	14	296	19%	910
西播磨地域（相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、揖保郡、赤穂郡、佐用郡）	81	303	22	302	20%	930
灘五郷	163	480	30	279	19%	686
新潟県越後地域	149	403	31	276	19%	779
石川県白山水系	86	315	26	312	21%	899
福井県九頭竜川水系	60	311	21	319	21%	927
長野県伊那地域	106	275	37	299	21%	921
秋田県平鹿平野	43	320	14	315	20%	946
山形県出羽地域	86	331	16	305	20%	900
岡山県笠岡市から倉敷市玉島地域	131	228	38	300	21%	941
広島県東広島市、三次市、庄原市等の地域	125	254	35	315	21%	909
北海道石狩川周辺、旭川周辺	157	266	23	279	18%	913
愛知県木曽川、矢作川流域及び豊川等の地域	62	234	35	328	22%	979
福島県会津、喜多方、二本松、郡山、いわき等の地域	227	299	45	283	20%	784
延べ回答者数 合計	1806	5086	430	4859	20%	14027
						26208

（一般消費者のうち、データ不備９２名を除く１６３８名を集計）

●播磨地域にある酒造について（一般消費者）

「訪ねたことがあり再訪したい」が合計１２１件、平均リピート希望率７２．５％であったが、前ページと比較すると、酒造会社名で訴求するよりも、エリアで訴求した方がポジティブ度が高くなることが観測された。

	ポジティブ		ネガティブ		未回答	合計
	訪ねたことがあり、再訪したい	訪ねたことはないが、行ってみたい	訪ねたことはあるが、再訪したくない	訪ねたことはないし、行ってみたいとも思わない		
神崎酒造(有)(姫路市)	9	244	4	292	18%	1,089
名城酒造(株)(姫路市)	3	215	3	287	18%	1,130
壺坂酒造(株)(姫路市)	2	188	2	292	18%	1,154
ヤエガキ酒造(株)(姫路市)	6	229	4	284	18%	1,115
(株)本田商店(姫路市)	6	193	1	296	18%	1,142
田中酒造場(姫路市)	8	254	3	280	17%	1,093
灘菊酒造(株)(姫路市)	13	222	6	280	17%	1,117
下村酒造店(姫路市)	5	184	1	292	18%	1,156
(名)岡田本家(加古川市)	4	163	2	298	18%	1,171
稲見酒蔵(株)(三木市)	1	162	1	304	19%	1,170
西谷酒造(資)(高砂市)	3	161	0	297	18%	1,177
三宅酒造(株)(加西市)	2	160	0	297	18%	1,179
富久錦(株)(加西市)	13	197	2	303	19%	1,123
山陽壺酒造(株)(宍粟市)	1	165	1	299	18%	1,172
老松酒造(株)(宍粟市)	3	174	0	299	18%	1,162
奥藤商事(株)(赤穂市)	8	193	2	291	18%	1,144
神結酒造(株)(加東市)	3	154	0	300	18%	1,181
高德銘醸(株)(加東市)	2	154	0	302	18%	1,180
大熊酒造(株)(加東市)	2	157	1	298	18%	1,180
井沢本家(名)(稲美町)	1	161	0	299	18%	1,177
キング醸造(株)(稲美町)	2	173	1	300	18%	1,162
明石酒類醸造(株)(明石市)	3	184	2	288	18%	1,161
江井ヶ嶋酒造(株)(明石市)	13	205	5	292	18%	1,123
茨木酒造(名)(明石市)	2	167	3	292	18%	1,174
西海酒造(株)(明石市)	4	170	1	291	18%	1,172
大和酒造(株)(明石市)	2	176	1	288	18%	1,171
延べ回答者数 合計	121	4805	46	7,641	18%	29975
						42,588

（一般消費者のうち、データ不備９２名を除く１６３８名を集計）

●観光スポットとして酒蔵を楽しめるといいますか？（一般消費者）

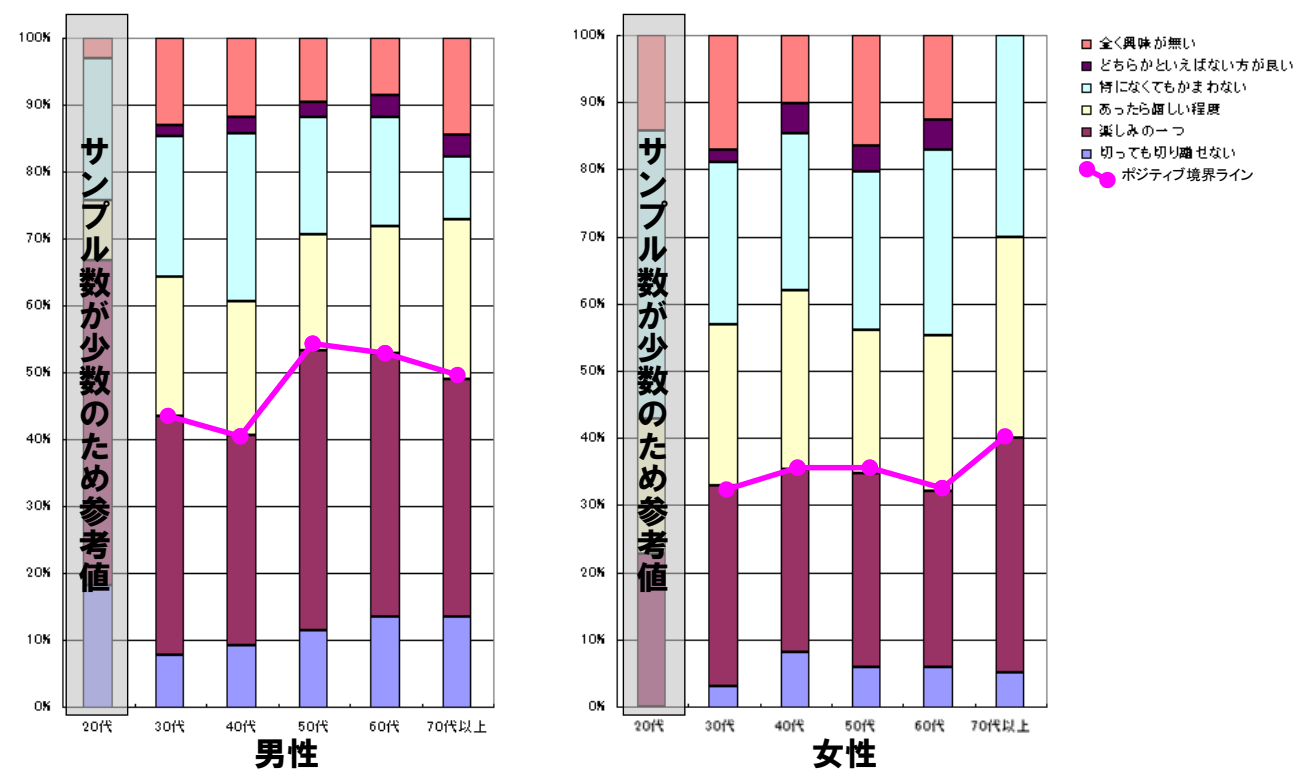
コンテンツによりポジティブとネガティブに分かれる。グルメかつ手軽なものが好まれ、農業体験などの体験型プランは敬遠される傾向がある。

	ポジティブ			ネガティブ			合計
	すごく楽しめる	ほどほどに楽しめる		それほどでもない	全く楽しめない		
新酒の時期に酒蔵を訪ね、美味しい酒と食事を楽しむ。	458	786	76%	236	158	24%	1,638
いくつかの酒蔵をめぐり、それぞれの酒蔵の特色を楽しむ。	400	783	72%	301	154	28%	1,638
いくつかの酒蔵をめぐり、それぞれの酒蔵で杜氏の話聞き、美味しい酒と	211	790	61%	461	176	39%	1,638
酒蔵のある町を訪ね、周辺の街並み等を散策し地域の人たちと交流しながら	261	731	61%	465	181	39%	1,638
美味しい酒に合う料理を、老舗の料理人から教わる。	212	712	56%	495	219	44%	1,638
バスで複数の酒蔵で試飲をたのしみ、気に入った地酒を購入する。	197	668	53%	509	264	47%	1,638
昼間は酒蔵周辺の街を散策し、手仕事体験や収穫体験を行い、夜は車座に	183	507	42%	653	295	58%	1,638
酒蔵のオーナーと酒を飲み交わしながら、美味しい酒造りに対する苦労話を	109	457	35%	739	333	65%	1,638
酒米「山田錦」の田植え、草取り、稲刈りを行い、自分の酒造りを楽しむ。	132	360	30%	741	405	70%	1,638
延べ回答者数 合計	2,163	5,794	54%	4,600	2,185	46%	14,742

（一般消費者のうち、データ不備 9 2 名を除く 1 6 3 8 名を集計）

●旅行と酒はあなたにとってどのような関係ですか？（一般消費者）

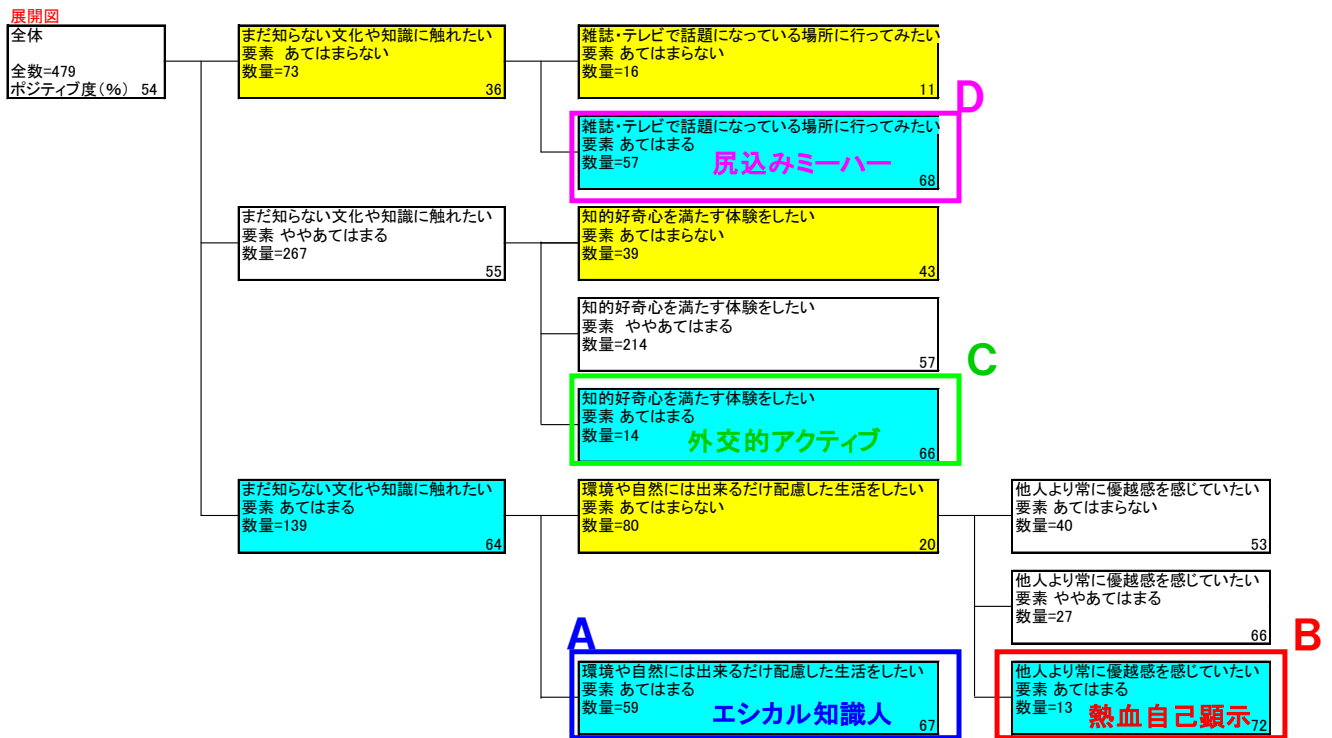
50代、60代男性の過半数が旅先での飲酒について積極的である



⑥酒蔵をコンテンツとしたターゲットおよび販促戦略マップ（案）

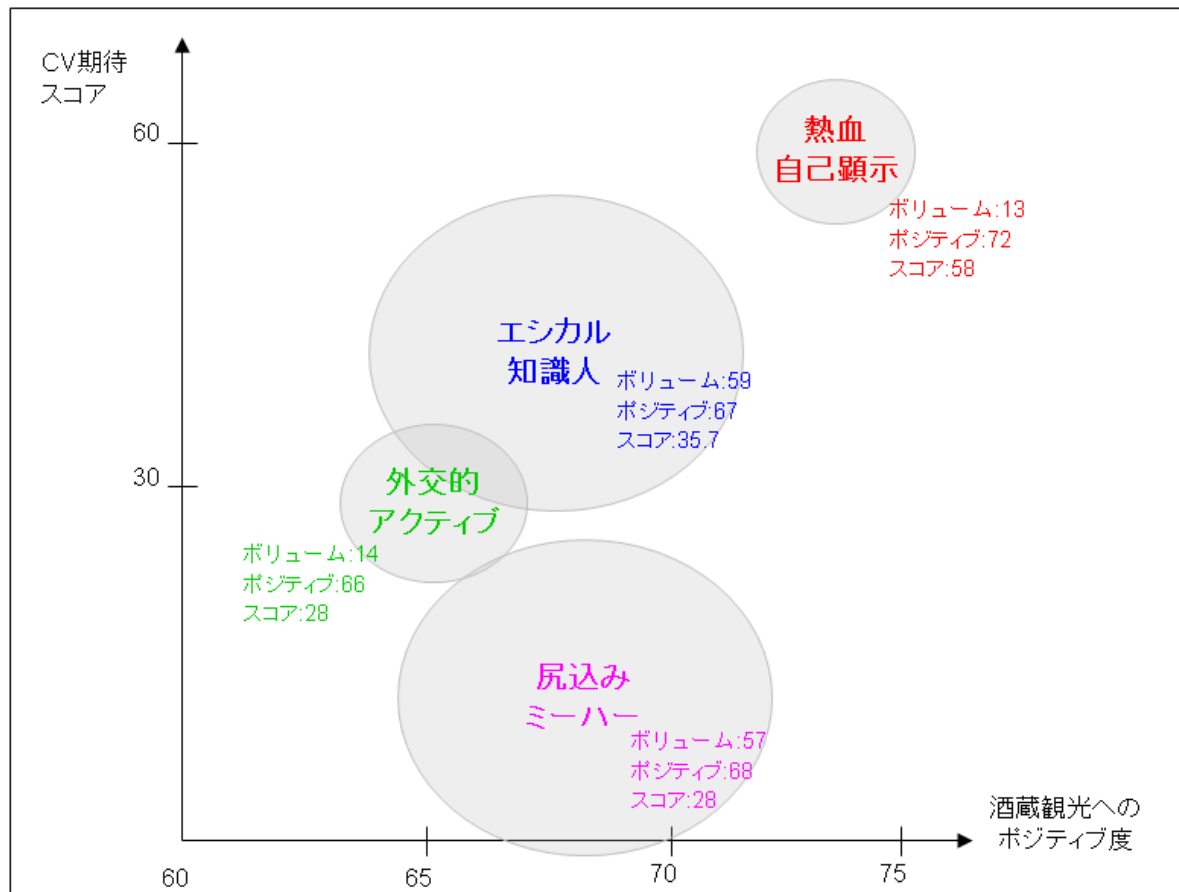
●酒蔵を観光コンテンツとして楽しむことに対しポジティブなお客様のクラスタリング

- クラスタ A 環境保全への関心および知識吸収への願望が強い「エシカル知識人」
 クラスタ B 他人よりも多くの体験を積み上げ優越感に浸りたい「熱血自己顕示」
 クラスタ C 知見習得のためにアクティビティにも積極的に参加したい「外交的アクティブ」
 クラスタ D 保守的だがメディアで話題になると行ってみたくなる「尻込みミーハー」



●各クラスターのC V期待スコアポジショニング

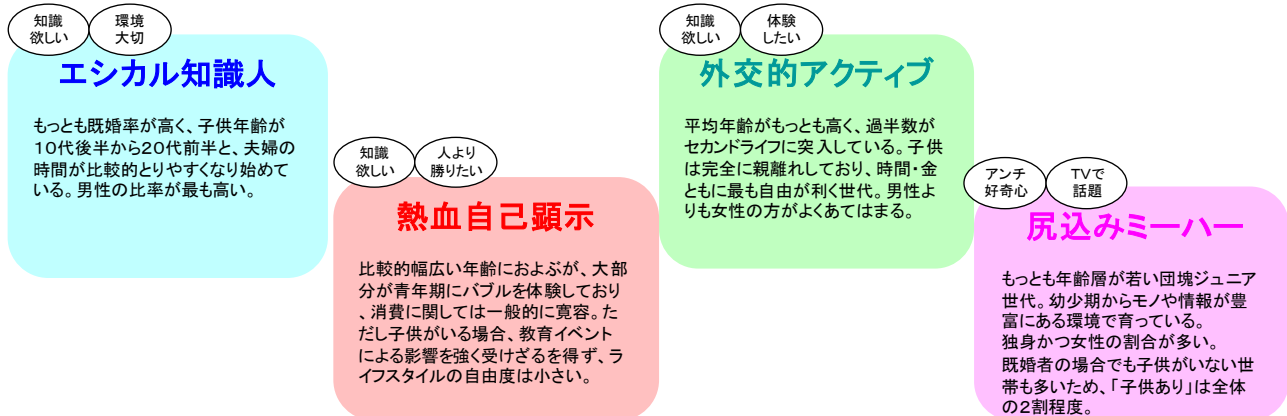
各クラスターについて、意識調査アンケート「人よりも早く新しい商品を手に入れたい」の回答結果と結合し、実際に酒蔵をコンテンツとしたツアーに対するコンバージョン（C V）期待値を算出した。



【C V期待スコア算出内訳】

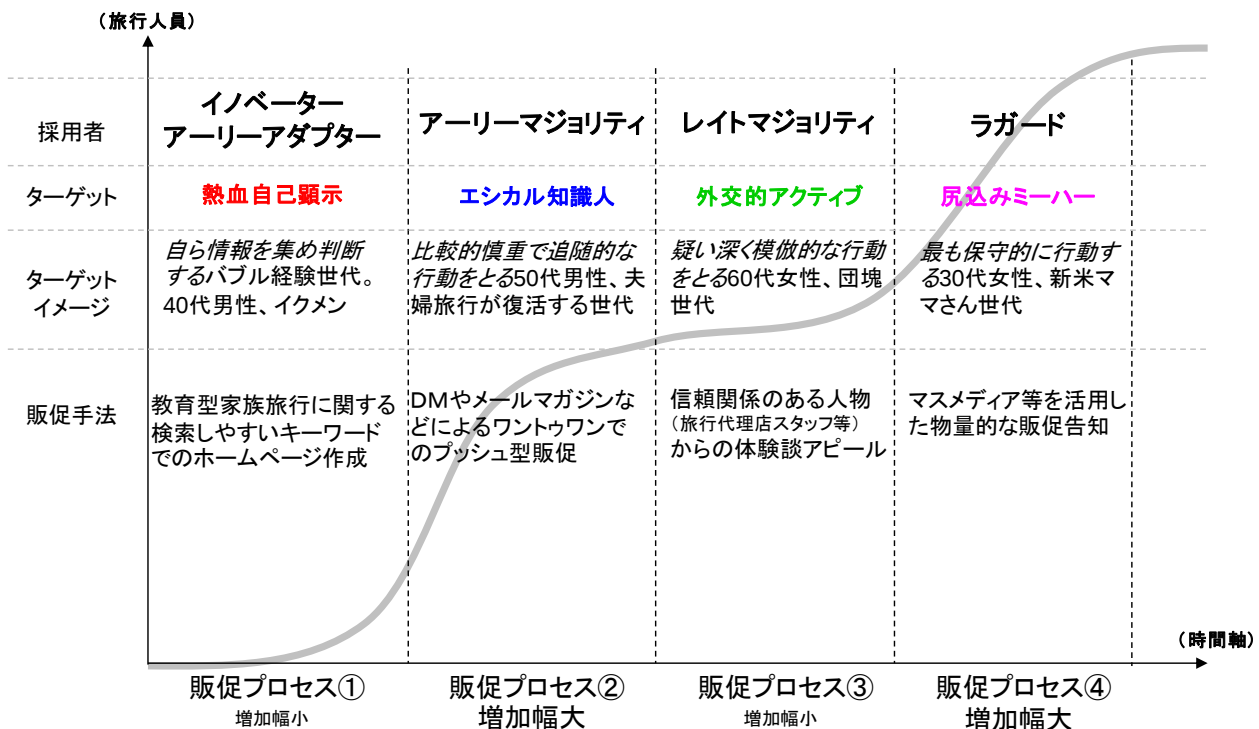
	設問：人よりも早く新しい商品を手に入れたい		
	あてはまる(A)	ややあてはまる(B)	CV期待スコア (A * 2 + B)
エシカル知識人	6.3%	23.1%	35.7
熱血自己顕示	15.0%	28.0%	58.0
外交的アクティブ	5.2%	17.6%	28.0
尻込みミーハー	0.0%	8.6%	8.6

● J T B旅カード属性データに基づく、各クラスターのプロファイリング



	年齢			男性比率	既婚比率	内、子供あり		末子推定状況
	平均	標準偏差	過半数があてはまる年齢 (標準偏差±0.68)			内、子供あり	末子推定状況	
エシカル知識人	49.2	7.6	44～54	61.3	69.7	84.7	高校・大学	
熱血自己顕示	44.8	9.1	39～51	53.2	66.2	76.9	小・中学生	
外交的アクティブ	58.4	10.9	51～66	41.3	68.3	79.7	社会人	
尻込みミーハー	34.8	6.3	31～39	42.9	53.5	36.5	未就学	

● 時系列的な販促戦略マップ（案）



※斜体フォント部分は各採用者(イノベーター等)について一般的にあてはまるそれぞれの特徴に基づく

⑦販促戦略マップを遂行するうえでの懸案事項（販促プロセス③）

●播磨地域を訪れたことはありますか？（ＪＴＢグループ社員）

旅行会社社員であっても首都圏および中部地方勤務者の過半数が播磨地区への訪問経験が無い。そのためレイトマジョリティに対して、効果的な販促ができない可能性がある。

居住地方	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	総計
2.東北地方	2						2
4.首都圏	55	13	6	3		4	81
5.中部地方	14	6	3	2		1	26
6.近畿地方	3	6	7	6	1	14	37
7.中国四国地方	2	1				1	4
8.九州地方	9	2					11
	1		1				2
総計	86	28	17	11	1	20	163

居住地方	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	総計
2.東北地方	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
4.首都圏	68%	16%	7%	4%	0%	5%	100%
5.中部地方	54%	23%	12%	8%	0%	4%	100%
6.近畿地方	8%	16%	19%	16%	3%	38%	100%
7.中国四国地方	50%	25%	0%	0%	0%	25%	100%
8.九州地方	82%	18%	0%	0%	0%	0%	100%
不明	50%	0%	50%	0%	0%	0%	100%
総計	53%	17%	10%	7%	1%	12%	100%

●観光スポットとして酒蔵を楽しめると感じますか？

一般回答者に比べて、旅行会社社員の方が体験型旅行に対しポジティブな傾向がある。特に田植えから始めるオリジナル酒造りは一般回答者に比べ50%以上高い。

	JTB社員 ポジティブ		一般回答者 ポジティブ	回答乖離 (JTB/一般)
	すごく楽しめる	ほどほどに 楽しめる		
いくつかの酒蔵めぐり、それぞれの酒蔵で杜氏の話を聞き、美味しい酒と	32	49	76%	124%
新酒の時期に酒蔵を訪ね、美味しい酒と食事を楽しむ。	40	40	75%	98%
いくつかの酒蔵めぐり、それぞれの酒蔵の特色を楽しむ。	18	58	71%	98%
美味しい酒に合う料理を、老舗の料理人から教わる。	25	44	64%	114%
バスで複数の酒蔵で試飲をたのしみ、気に入った地酒を購入する。	11	56	63%	119%
酒蔵のある町を訪ね、周辺の街並み等を散策し地域の人たちと交流しながら	19	43	58%	96%
屋間は酒蔵周辺の街を散策し、手仕事体験や収穫体験を行い、夜は車座にな	21	36	53%	126%
酒米「山田錦」の田植え、草取り、稲刈りを行い、自分の酒造りを楽しむ。	12	37	46%	152%
酒蔵のオーナーと酒を飲み交わしながら、美味しい酒造りに対する苦労話を	11	29	37%	108%

総 括

今回のアンケートにより、播磨地区の各観光コンテンツは、一般消費者と比べて旅行意識が高いＪＴＢ旅カード会員であっても、姫路城等の一部を除いては、認知率が低いことが判明した。

同様に播磨地区の「酒蔵」においても現状の認知率はそれほど高くはない（＝未回答が目立つ）結果であったが、実際に酒蔵を訪問した観光客では、リピート希望率が 72.5%と非常に高いことが確認された。この傾向は播磨地区以外の酒蔵でも全国的に見られ、酒蔵が集まる地域を訪問した観光客は80%以上がリピートを希望していることも今回新たに判明した。これらのことから、酒蔵が観光コンテンツとして秘めた潜在能力は相当高いのではないかと憶測される。

ただし、今回のアンケート結果では、播磨の酒蔵を旅する楽しみ方のイメージが「美味しい食事がしたい」程度の曖昧な状態であり、強い欲求を伴っていないことが懸念される。そのため現状では比較的遠方から「費用をかけてでも行きたい」とのニーズを引き出すことは困難と考えられる。

<方向性>

「播磨の酒蔵」を観光コンテンツの観点から見ると、現段階では、単独でも誘致可能なコンテンツには育っていない。しかし、その潜在能力の高さは今回の取り組みにおいても確認されており、観光コンテンツとして早急に活用していくべき資源である。そのためにも、認知度を高める取り組みが必要であるため、まずは、様々な媒体を活用し、発信していく必要がある。また、認知度が高い観光地である「姫路城」と連携した情報発信や、2015年大河ドラマの告知、広報などにより播磨地域へ目が向けられる機会に、タイムリーな情報発信を行い、観光コンテンツとして認知度が高まるよう、主要観光地と一緒に情報発信を推進していく必要がある。

(3) 観光プログラム開発研修会

ツアープログラムの造成に当たって、播磨地域の蔵元や関係者を対象に、酒蔵が地域振興のコンテンツになりうる素地であることを認識していただくことを目的として、他地域の事例を参考とし、播磨地区に取り込むことができるよう、研修会を開催した。

①開催概要

- ・日時：平成 25 年 9 月 26 日（木）16:00～18:00
- ・場所：じばさんビル 501 号室（姫路市南駅前町 123）

②プログラム

- ・今日、取り組まれている観光について
- ・観光プログラム開発について

③講師：母倉修氏

（大阪府立大学 21 世紀科学研究機構 観光産業戦略研究所 客員研究員）

（株）ジェイコム（現 JTB コミュニケーションズ）ビジターズインダストリー研究所
主席主任研究員を経て、2011 年より大阪府立大学 21 世紀科学研究機構 観光産業
戦略研究所 客員研究員。

地域が主体となるコミュニティー・ベースド・ツーリズムの研究と実践が専門。流
通科学大学非常勤講師。観光まちづくりプロデューサー。



<講演概要>

- ・地域の暮らし文化や歴史文化、自然環境を資源に、これを巧みに組み合わせたプログラムによる観光の展開が重要となっており、“観たり、体験したり”の観光に加えて、地域に“ひたる”観光によって、訪れた地域での滞在時間も長くなり、結果として域内消費額の拡大に結びついていくものである。
- ・今回の観光プログラム開発研修では、プログラム開発について具体的な事例を交え関する「考え方」や「進め方」について、事例を交え「観光プログラム開発」の「考え方」や「進め方」を体験的に習得する。

<研修会報告>

これまで観光箇所ではなかった酒蔵の方に、地域に人が訪れ交流が生まれることが、地域を活性化するということを再認識していただき、観光の受け入れや旅行商品の開発に協力していただくことを啓蒙できた。その中で、モニターツアーの集客、来年度以降の旅行商品の造成を自治体、観光関係者と取り組んでいく方向性を確認した。

<まとめ>

観光資源磨き上げを目的に3つの取組みを行った。それにより、酒蔵が観光素材として有効なコンテンツであることを認識し、モニターツアーの造成や旅行商品化にむけた動きにつながった。

3. 調査対象地域の魅力の情報発信の手法の検討・実施

提案者である播磨広域連携協議会と「日本酒のふるさと播磨」の効果的な情報発信の手法について協議を行ない、以下の手法を検討・実施した。

(1) パンフレットの作成

「日本酒のふるさと播磨酒蔵ガイドブック」として、はりまの酒の特徴や播磨地域 22 店の酒蔵の概要を示したパンフレットを作成した。播磨地域全体の酒蔵ガイドブックとしては初めてのものとなる。パンフレットは、1 月実施の「近畿の魅力ある観光地展」や 2 月実施の観光庁「タビカレ学園祭」で配布を行い、都市圏での播磨地域の酒蔵案内に有効的に使用した。また、昨年度より催行している神姫バスツアーズの酒蔵めぐり日帰りツアーの旅行者に配布し、他酒蔵への周遊を促す働きをした。播磨地域の自治体や各酒蔵にも配布し、日本酒に興味のある旅行者をターゲットに、播磨地域全体の周遊を促し、「日本酒のふるさと播磨」をPRする。

来年度以降はWEBを充実させWEBでの情報発信や修正を図ることとする。

(パンフレット紙面)



（２）媒体を活用した情報発信

播磨地域で取り組みを行なっている「はりま酒文化ツーリズム」の魅力の発信を目的として、主に京阪神圏をターゲットに、ラジオや雑誌等で紹介を行った。

●ABCラジオ

幅広い層に向けた取り組み及びモニターツアーへの周知として、ABCラジオにて、「はりま酒文化ツーリズム」の紹介紹介を行なった。
(放映日／9月20日、10月10日、11月5日)

●ノジュール

ノジュール2014年1月号で、モニターツアーの様子を紹介した。ノジュールは「旅」をメインテーマにした50代以上のアクティブシニア向けの雑誌であり、日本酒に興味をもつ層に向けた情報発信となった。

「はりま酒文化ツーリズム」の魅力を伝えるために、地元の人々や観光客を対象としたイベントを開催しました。写真には、地元の人々と観光客が一緒に酒を飲み、交流している様子が写っています。

秋津の田んぼでは山田錦の稲が実る風景を捉えています。本田商店の山田錦農家や生産者の夢や希望も伝えています。

秋津の田んぼでは山田錦の稲が実る風景を捉えています。本田商店の山田錦農家や生産者の夢や希望も伝えています。

日本酒のふるさととして酒蔵めぐり

はりま酒文化ツーリズム

「はりま酒文化ツーリズム」とは、100以上の酒蔵（醸造元）に足を運び、酒蔵の歴史や文化、酒の味や造り方を学ぶことができる。また、酒蔵の周辺には、酒蔵の歴史や文化、酒の味や造り方を学ぶことができる。また、酒蔵の周辺には、酒蔵の歴史や文化、酒の味や造り方を学ぶことができる。

「はりま酒文化ツーリズム」の魅力を伝えるために、地元の人々や観光客を対象としたイベントを開催しました。写真には、地元の人々と観光客が一緒に酒を飲み、交流している様子が写っています。

「はりま酒文化ツーリズム」の魅力を伝えるために、地元の人々や観光客を対象としたイベントを開催しました。写真には、地元の人々と観光客が一緒に酒を飲み、交流している様子が写っています。

「はりま酒文化ツーリズム」の魅力を伝えるために、地元の人々や観光客を対象としたイベントを開催しました。写真には、地元の人々と観光客が一緒に酒を飲み、交流している様子が写っています。

「はりま酒文化ツーリズム」の魅力を伝えるために、地元の人々や観光客を対象としたイベントを開催しました。写真には、地元の人々と観光客が一緒に酒を飲み、交流している様子が写っています。

モニターツアーに行ってみました！

行く先々で酒を飲み、交流しました。写真には、地元の人々と観光客が一緒に酒を飲み、交流している様子が写っています。

「はりま酒文化ツーリズム」の魅力を伝えるために、地元の人々や観光客を対象としたイベントを開催しました。写真には、地元の人々と観光客が一緒に酒を飲み、交流している様子が写っています。

酒造り

酒造りの工程を詳しく紹介します。写真には、酒造りの工程を詳しく紹介します。

米作り

米作りの工程を詳しく紹介します。写真には、米作りの工程を詳しく紹介します。

「はりま酒文化ツーリズム」の魅力を伝えるために、地元の人々や観光客を対象としたイベントを開催しました。写真には、地元の人々と観光客が一緒に酒を飲み、交流している様子が写っています。

●神戸WOMAN

播磨地域に近い都市・神戸地域の女性に向けた情報発信として、神戸に暮らす女性向けのフリーマガジン「神戸WOMAN」にて、「播磨で楽しむ名酒探訪」と題して紹介を行なった。



天下の酒米 山田錦のお膝元 「播磨」で楽しむ名酒探訪

来年のNHK大河ドラマの主人公は「黒田官兵衛」。そのゆかりの地でもある播磨は、日本酒のふるさとであり、山田錦の生誕地であり、天下に誇る名酒どころでもあります。10月には山田錦の稲刈りや新酒の仕込みがはじまり、12月からは新酒が味わえる季節に。そんな播磨を散策しませんか。



10月は「新酒の仕込み」時期

全国新酒鑑評会で金賞受賞の多くに山田錦が使われています。播磨の酒蔵にも、多くの入賞酒があります。10月の声を聞けば、山田錦の刈り取りの頃。穂を垂れる山田錦の稲刈りシーンが見受けられます。収穫に合わせ、酒蔵では新酒の仕込みがスタート。美味しいお酒の出来上がりを楽しみます。

黄金に輝く山田錦に感激！

情緒ある酒蔵を見て歩くのも楽しい。

オンリーワンの酒蔵が点在

播磨灘に面して広がる播磨平野は、1923（大正12）年に誕生した酒米「山田錦」の産地です。代表的な酒米と美味しい水に恵まれた播磨は、良いお酒が造れる環境にあるといえます。1300年前に編纂された「播磨国風土記」には、日本で初めて米麹を使った酒造りの記述もあると。現在も、播磨の地で日本酒を製造している酒蔵は20以上。そして、どの酒蔵もオンリーワンにこだわりの酒造りを目指しています。

12月は新酒の季節

緑鮮やかな杉玉（酒林）がかかれ「新酒が出来ました」「搾りを始めました」の意味。日本酒は精米歩合で大吟醸酒、吟醸酒などに分けられ、味も辛口・甘口まで幅があります。それだけに、いろいろな日本酒を味わうのも楽しいものです。日本酒女子の皆様、播磨に訪れて、思う存分、美酒に酔いしれてみませんか？

この10月と12月には、名だたる名酒をお楽しみいただける「きき酒大会」が組み込まれた究極のツアーも実施します。お見逃しなく！

酒蔵では試飲の体験もできちゃかも

風情ある播磨の町並みも素敵

和酒ソムリエ・フードアナリストあおい有紀さん



Profile

神戸市出身。航空会社勤務を経てフリーアナウンサーに。現在はフジテレビ「とくダネ」内の、生CMパーソナリティを務める。地域活性化に力を入れて、日本酒の魅力を伝えたいと数多くのイベントや酒蔵ツアーの企画・主催、講演、セミナー、執筆など幅広く活躍中。

はりま酒文化ツーリズムにて目利き役
日本酒造青年協議会酒サムライ叙任

和酒ソムリエ・フードアナリスト「あおい有紀」と巡る
日本酒のふるさと「はりま」を訪ねる旅 1泊2日 モニターツアー

旅行期日 ①2013年10月26日（土）～27日（日）1泊2日
【夢乃井 翔鶴館】和室（相部屋希望の方は承ります。）
（朝食1回、昼食2回、夕食1回）

②2013年12月7日（土）～8日（日）1泊2日
【銀波荘】和室（相部屋希望の方は承ります。）
（朝食1回、昼食2回、夕食1回）

出発地（時間） 梅田（8:00） 新大塚駅（8:30）

募集人員 ①②共に40名（最少催行人員各30名）

添乗員 同行

旅行企画・実施 JTB西日本

企画・協力 播磨広域連携協議会・はりま酒文化ツーリズム協議会

■お申込み・お問合せ先
JTB西日本 姫路支店 ☎079-289-2120

ツアーの特徴

- 和酒ソムリエ・フードアナリスト「あおい有紀」さんが、ツアーに同行。
- ①10月のツアーポイントは「新酒の仕込み」
元禄時代より酒造に専事している本田商店。米にこだわりの、兵庫県特A地区産の「山田錦」を使用しています。実際に稲が実る田圃を見学し、酒蔵にて新酒の仕込みの現場を見学します。
- ②12月のツアーポイントは「新酒のしぼり」
日本でここだけ、田中酒造場にて約500kgの石の重みだけで搾っていく、一般には公開されていない「石掛式天秤搾り」を、今回のツアーでは特別に目の前でご覧いただけます。
- 3.宿泊する旅館で、「きき酒大会」を開催。

※ご参加者様には、旅行終了後、ツアー全館に関する簡単なアンケートにお答えいただけます。

お申し込み締切日 ①2013年10月15日（火） ②2013年11月26日（火）

■詳しい旅行条件を記載した書面をお渡しいたしますので、ご確認の上、お申込みください。

旅行代金 ①②共に大人おひとり様

4～5名様1室	3名様1室	2名様1室
19,800円	22,800円	25,800円

ツアーの詳細はコチラ
<http://www.jtb.co.jp/shop/himeji/>

【旅行企画・実施】 JTB西日本
姫路市東区東町1丁目170号 一般社団法人日本旅行業協会 正会員

(3) はりまの酒 展示ブース

はりま地区に来訪した観光客に、「日本酒のふるさとはりま」を発信し、酒蔵に興味をもってもらうため、各酒蔵よりお酒をご提供いただき、ブースでPRを行った。

・ 夢の井 10/20～26



・ 銀波荘 11/30～12/7



10月20日～26日

日本酒銘柄一覧

灘菊酒造株式会社

姫路市手柄1-121
tel : 079-285-3111

純米酒 灘菊 ひやおろし

田中酒造場

姫路市広畑区本町3-583
tel : 079-236-0006

大吟醸 白鷺の城

株式会社本田商店

姫路市網干区高田361-1
tel : 079-273-0151

龍力 純米大吟醸秋津

ヤエガキ酒造株式会社

姫路市林田町六九谷681
tel : 079-268-8080

純米大吟醸 青乃意

壺坂酒造株式会社

姫路市夢前町前之庄1418-1
tel : 079-336-0010

純米吟醸 雪彦山

株式会社下村酒造店

姫路市安富町安志957
tel : 0790-66-2004

奥播磨 純米大吟醸伝授

名城酒造株式会社

姫路市豊富町豊富2222-5
tel : 079-264-0181

純米酒 名城 隠し酒

神埼酒造有限公司

姫路市船津町2033
tel : 079-232-0004

龍王の舞 純米原酒

老松酒造有限公司

宍粟市山崎町山崎12
tel : 0790-62-2345

老松 米郷

山陽盃酒造株式会社

宍粟市山崎町山崎28
tel : 0790-62-1010

播州一献 純米酒

奥藤商事株式会社

赤穂市坂越1419-1
tel : 0791-48-8005

大吟醸 忠臣蔵

合名会社岡田本家

加古川市野口町良野1021
tel : 079-426-7288

純米吟醸 盛典

井澤本家合名会社

加古郡稲美町印南818
tel : 079-495-0030

純米酒 倭小槌 ひやおろし

江井ヶ嶋酒造株式会社

明石市大久保町西島919
tel : 078-946-1001

神鷹 特別純米明石

茨木酒造合名会社

明石市魚住町西岡1377
tel : 078-946-0061

来楽 原酒

西海酒造株式会社

明石市魚住町金ヶ崎1350
tel : 078-936-0467

大吟醸 空乃鶴 生酒

明石酒類醸造株式会社

明石市大蔵八幡町1-3
tel : 078-919-0277

本醸造原酒 明石鯛

稲見酒造株式会社

三木市芝町2-29
tel : 0794-82-0065

純米大吟醸 葵鶴 酒壺

富久錦株式会社

加西市三口町1048
tel : 0790-48-2111

純米大吟醸 富久錦 瑞福

神結酒造株式会社

加東市下滝野474
tel : 0795-48-3011

純米吟醸 神結 たましずく

三宅酒造株式会社

加西市中野町917
tel : 0790-49-0003

純米酒 菊日本 純米

11月30日～12月7日

日本酒銘柄一覧

灘菊酒造株式会社

姫路市手柄1-121
t e l : 079-285-3111

純米大吟醸 きくのしずく

田中酒造場

姫路市広畑区本町3-583
t e l : 079-236-0006

大吟醸 白鷺の城

株式会社本田商店

姫路市網干区高田361-1
t e l : 079-273-0151

大吟醸 米のさきやき

ヤエガキ酒造株式会社

姫路市林田町六九谷681
t e l : 079-268-8080

純米大吟醸 青乃壺

壺坂酒造株式会社

姫路市夢前町前之庄1418-1
t e l : 079-336-0010

しぼりたて新酒 金壺

株式会社下村酒造店

姫路市安富町安志957
t e l : 0790-66-2004

奥播磨 純米大吟醸伝授

名城酒造株式会社

姫路市豊富町豊富2222-5
t e l : 079-264-0181

無炉過生原酒 隠し酒

神埼酒造有限公司

姫路市船津町2033
t e l : 079-232-0004

龍王の舞 純米原酒

奥藤商事株式会社

赤穂市坂越1419-1
t e l : 0791-48-8005

大吟醸 忠臣蔵

合名会社岡田本家

加古川市野口町良野1021
t e l : 079-426-7288

特別純米生原酒 盛典

井澤本家合名会社

加古郡稲美町印南818
t e l : 079-495-0030

純米大吟醸 まごころ

江井ヶ嶋酒造株式会社

明石市大久保町西島919
t e l : 078-946-1001

神鷹 特別純米明石

茨木酒造合名会社

明石市魚住町西岡1377
t e l : 078-946-0061

来楽 原酒

西海酒造株式会社

明石市魚住町金ヶ崎1350
t e l : 078-936-0467

原酒 空乃鶴

明石酒類醸造株式会社

明石市大蔵八幡町1-3
t e l : 078-919-0277

純米 明石鯛

稲見酒造株式会社

三木市芝町2-29
t e l : 0794-82-0065

純米無炉過生酒 山田錦しずく

富久錦株式会社

加西市三口町1048
t e l : 0790-48-2111

純米大吟醸 瑞福

神結酒造株式会社

加東市下滝野474
t e l : 0795-48-3011

神結 しぼりたて

(4) PRグッズ・着ぐるみ

「はりま酒文化ツーリズム推進事業」のPRグッズとして、実際に利用してもらえるトートバッグやてぬぐいなどの雑貨・文房具等を作成した。

モニターツアーやその後、地域で開催されている、「酒蔵めぐりバスツアー」や「播磨美酒・美食の宴」等で配布を行ない、播磨地域が日本酒のふるさとであることを効果的にPRを行った。

・トートバッグ、シール、ボールペン



・てぬぐい



・官兵衛盃



・クリアファイル



・ポスター



「はりま酒文化ツーリズム推進事業」のイメージキャラクター「もりりい」の着ぐるみを作成した。※「もりりい」は黒田官兵衛の家臣で酒豪の逸話が残る母里太兵衛（もりたへい）がモデル。「おじかわいい」をコンセプトに親近感を持たせた。

着ぐるみは、各種イベント等に参加し、「はりま酒文化ツーリズム推進事業」をPRした。

・「もりりい」の着ぐるみ



(5) 来年度の商品造成に向けた取り組み

今年度のモニターツアーの取り組みを受けて、来年度の商品造成に向けて各機関と調整を行い、プラン造成を行なった。

また、地域を見ていただくことにより、新たな気付きや素材の磨きを期待し、来年度以降の商品展開に活かすこととした。

●個人向けプランイメージ



地域の魅力案内人
田中理事長

[illegible]

手記旅行

黒田官兵衛ゆかりの地と はりまの酒を訪ねて

兵庫県播磨
姫路・塩田・赤穂

かんべすくん

旬の味覚を肴に
はりまの酒をいただく旅

新日本旅行のゆるキャラと
はりまの食文化を
ふりかへて旅しよう
011-777-7373
00000000

宇陀市観光振興局・宇陀市観光振興局事務局 姫路ブロック
姫路市観光局は消費税率7%を適用しておりますが、
消費税は含まれておりません。
※掲載内容は、掲載日現在の情報です。変更される場合があります。

[illegible][illegible]

“うまい酒”と訪ねて梅磨の酒蔵へ

日本酒のふるさとであり、山田錦の産地である播磨には多くの“オンリーワン酒蔵”が点在しています。その数はなんと20軒超。それぞれの酒蔵でこだわりを持って醸造しており、播磨地区内で多くの個性豊かな日本酒を楽しむことができます。お好みの酒を探しに、そしてお好みの酒蔵を探しに、酒蔵めぐりにふらりと出かけてみてはいかがでしょうか。

◆各お宿でも地元の酒蔵のご案内をいたします。

おすすめモデルコース 各所要時間7～8時間 ※行程はタクシー利用のモデルコースです。酒蔵の予約は、JTB西日本総務支店は「まろ文化ツーリズムデスク」にて承ります。

1日目におすすめ

姫路地区 ―― はりまの酒蔵(本田商店・田中酒造場等) ――



〔本田商店〕
地元にあるうまい米や水と
いった酒造の元「山田
錦」を醸めた日本酒作りを
する蔵元



〔田中酒造場〕
『源流創製』のモットーを
掲げる、伝統の「石磨け
式天粹搾り」を採用する
蔵元

＝瀬香酒造(食事)＝ 廣重神社＝大河ドラマ館・姫路城＝姫路地区または赤穂地区

1日目におすすめ

姫路地区 ―― 御着城址・黒田家廟所 ―― 寛久餅(食事) ――



〔寛久餅〕
「人と自然の調和」を
テーマに健康らしい
の味の酒造りにこだ
わる蔵元

＝大河ドラマ館・姫路城＝姫路地区または赤穂地区

2日目におすすめ

姫田温泉 ―― 彦坂酒造 ―― 内栗の酒蔵のある旧街道まちなみ ――



〔彦坂酒造〕
歴史を感じさせ
る約200年前
に建てられた
本蔵と「やさし
い味」が特徴
の蔵元



〔山崎酒造〕
全国的にも珍
しい天然の野
蔵蔵(明蔵)の
蔵元(明蔵)で無
い味と「やさし
い味」が特徴
の蔵元

＝熊保乃赤貴料理そうめん屋(食事)＝大河ドラマ館・姫路城＝姫路地区

2日目におすすめ

赤穂温泉 ―― 興隆商事(酒造土産見学)・坂越のまちなみ ――



〔興隆商事〕
400年続く酒造りの
名家で、昔ながらの
手造りの製法を受け
継ぐ蔵元

＝大石神社＝瀬香酒造(食事)＝国府山城址
＝大河ドラマ館・姫路城＝姫路地区

※写真はすべてイメージです。

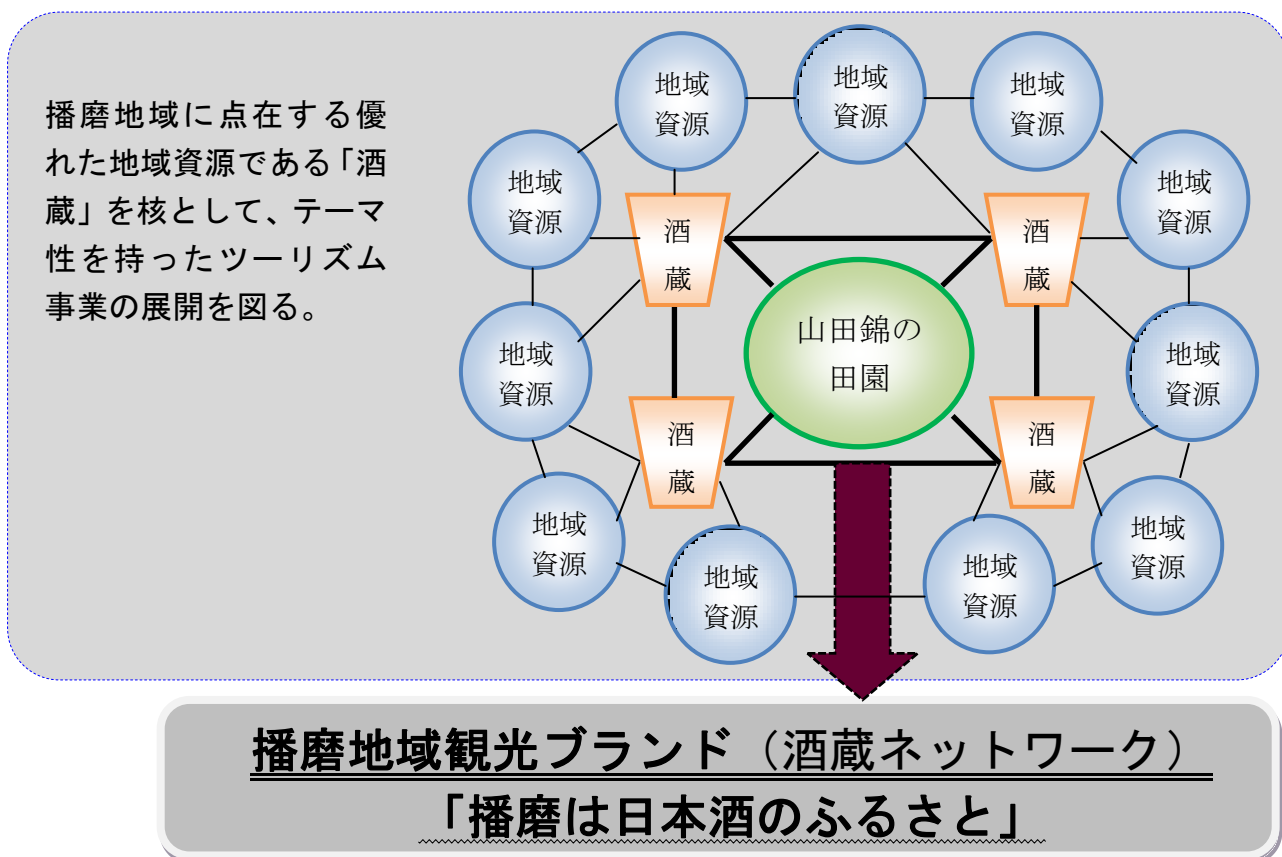
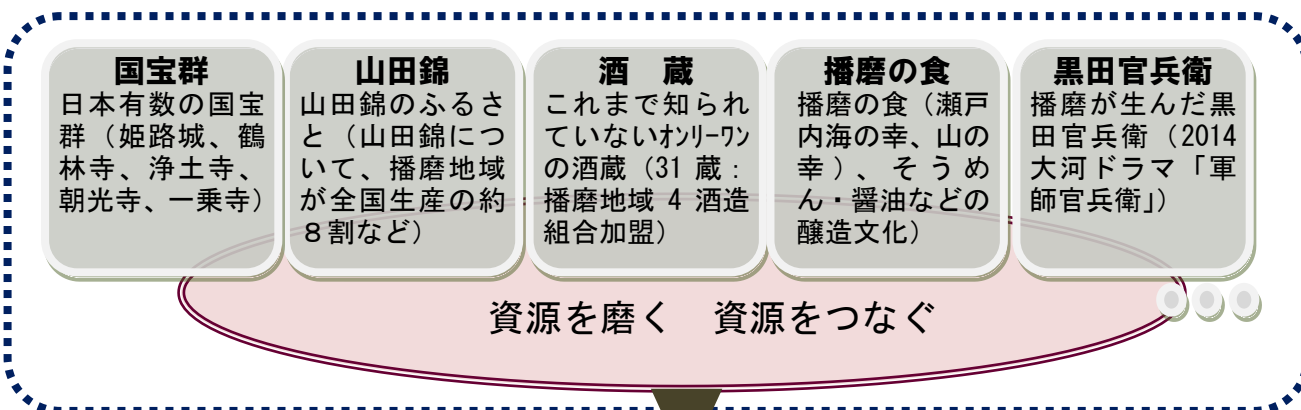
4. モニターツアーの造成

(1) モニターツアーの企画

モニターツアーの造成に向けて、JTB、播磨広域連携協議会、4酒造組合で下記の通り検討を行なった。

- 1、4組合の酒蔵を必ず2回のツアーで1回はまわれるコース取りの検討
- 2、単なる酒蔵を訪れるだけでなく、酒をテーマとして、ツアーに特別感をだすため素材を検討した結果 はりまの酒の特徴である山田錦と新酒のしこみが10月にでき、新酒のしぼりが12月にできることからコンセプトを決定。10月は契約農家を独自で持ち山田錦の米にこだわりが特徴の本田商店を中心に、12月ははりまの風物詩 昔ながらの手法「石掛け式天秤絞り」の田中酒造場がはりまの酒の特徴をだせる理由で、特別に2つの酒蔵にお願いし、モニターツアーの核を決定。また特徴のひとつ麴をつかった日本酒発祥地庭田神社を選定。
- 3、はりまの食を提供し、団体バスツアーの受け入れが出来る2地域（姫路・赤穂）の旅館を決定。10月松茸等山の幸で姫路・塩田温泉 12月牡蠣等海の幸で 赤穂・赤穂温泉とはりまをアピールできる旅館に事業の趣旨を説明して受け入れをお願いした。
- 4、昼食は レストランを持つ酒蔵 地元の食をピックアップし 2酒蔵の料理とそうめん、もちむぎ麺を選定した。
- 5、上記の素材を決めた上でコース取りをし、そのコースにはまる酒蔵を選定して受け入れをお願いした。地区の観光スポットトップの姫路城・赤穂神社をいれ、集客のコンテンツとした。
- 6、普段できない機会を提供できる考え 20を超える酒蔵の酒を一度に飲めるよう、酒造組合に協力を依頼し、宴会で各酒蔵のお酒を飲めるようにした。
- 7、旅行も物見遊山でなく学ぶ形態も増え、酒を勉強できるツアーが魅力的と考え、お酒に造詣が深い、目利きのあおい有紀氏がツアーに同行し、参加者との交流のなかで酒に関する話題提供を行なうこととした。

《モニターツアーの展開イメージ》



（２）モニターツアーの造成

JTB、播磨広域連携協議会、４酒造組合による検討・企画を踏まえて、モニターツアーを造成した。

（ツアーの目的）

「播磨は日本酒のふるさと」を地域のブランドテーマとして位置づけ、はりまの酒文化を全国に情報発信し、浸透・定着することを目的とする。

（ツアーのポイント）

１．最高級酒米「山田錦」の生誕地「はりま」に数多く点在するオンリーワンの酒蔵を訪問する。こだわりの酒造りを間近で見学し、酒蔵の主人の話を聞く。

●１０月のツアーポイントは「新酒の仕込み」

元禄時代より酒造りに従事している本田商店は、米にこだわり、「兵庫県特Ａ地区産の山田錦」を使用している。今回は、「山田錦」稲穂を見学し、酒蔵にて新酒の仕込みの現場に立ち会う。

●２月のツアーポイントは「新酒のしぼり」

田中酒造場にて、日本で唯一と言われる約５００kgの石の重みだけで搾っていく「石掛式天秤搾り」を、目の前で見学する。この作業は、一般には公開されていないので、今回のツアーでは特別公開となる。

２．酒サムライ「あおい有紀」氏がツアーに同行する。

３．宿泊する旅館で、「きき酒大会」を開催。播磨地域に点在する数多くの酒蔵から、名だたる名酒が一堂に集まる。

（「はりま酒文化ツーリズムモニターツアー」商品概要）

出発日：①２０１３年１０月２６日（土）～１０月２７日（日） １泊２日

②２０１３年１２月７日（土）～１２月８日（日） １泊２日

行 程：①１日目梅田（新大阪）→山田錦田園見学→夢結酒造→ふく蔵→本田商店→壺坂酒造→夢乃井（宿泊）／２日目ホテル→庭田神社→酒蔵のあるまちなみ→そうめんの里→ヤエガキ酒造→江井ヶ嶋酒造→梅田（新大阪）

②１日目梅田（新大阪）→山田錦の館→湯ノ山街道→福崎もちむぎのやかた→田中酒造場→銀波荘／２日目ホテル→奥藤商事・坂越まちなみ→赤穂大石神社→灘菊酒造→姫路城→井澤本家→梅田（新大阪）

旅行代金：①②共に大人おひとり様

４・５名様１室利用：１９，８００円

３名様１室利用：２２，８００円

２名様１室利用：２５，８００円

募集人員：①②共に40名

最少催行人員：30名

添乗員：同行

旅行企画・実施：JTB西日本

企画協力：播磨広域連携協議会・はりま酒文化ツーリズム協議会

お申込み開始日：2013年9月10日（火）10:00

お申込み締切日：①2013年10月15日（火） ②2013年11月26日（火）

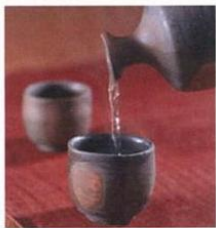
その他：参加者には、旅行終了後、ツアー全般に関する簡単なアンケートにお答えいただく。

（モニターツアーの募集）

モニターツアーの募集については、募集チラシを作成し配布すると共に、JTB姫路支店ホームページや京阪神・奈良地域のフリーペーパーへの掲載、「酒蔵ツーリズム日本酒セミナー（第2回播磨の日本酒）」内でのPR等によって行った。

播磨は 日本酒のふるさと

兵庫県・播磨は知る人ぞ知るお酒の宝庫と呼ばれており、
多くの酒蔵が点在します。歴史ある播磨の日本酒文化に触れて、
職人が造る極上の日本酒と出会う旅へ。



日本酒の歴史の始まりの場所

奈良時代初期、約1300年前に編纂された「播磨国風土記」の中に、
米麴を用いた酒造りの製法が初めて登場しました。

大神の御殿(みかれい)沽(ぬ)れて薫(かび)生えき、すなはち、酒を醸(かも)さしめて、庭酒に献りて宴しき ~播磨国風土記より~

伊和大神に供えられた米飯が濡れたため、カビが生えてしまった。そこでその米を播磨の庭田神社(宍粟市)の裏にあるぬくい川で醸したところお酒が出来上がり、伊和大神に献上して宴をおこなったと記されています。他にも、大名持大神が慰労のため酒を醸して宴をひらいたという由緒があるなど、庭音の里(庭田神社)はお酒にとっても縁の深い神社です。

日本酒の最高原米「山田錦」のおひざもと

明治末期から大正にかけて、兵庫県内では「山田錦」という酒米の在来種が栽培されていました。味のある大粒種でしたが茎が長いめ倒伏しやすく、収穫できる量が少なかったようです。そこで、大正末期から兵庫県立農事試験場(現在の加東市)にて「山田錦」と「短稈渡船(たんかんわりふね)」という酒米で人工交配が行われ、昭和11年に「山田錦」が誕生しました。

山田錦も大粒種で粘りがよく、タンパク質の含量が少ないなどの理由から最高の酒造好適米と称されており、誕生から50年が経った現在でも全国新酒鑑評会に出品されている酒の多くに兵庫産の山田錦が使用されています。

播磨の酒蔵では山田錦を使用した日本酒がたくさん生産されており、地産地消の取り組みにもつながっています。



山田錦まつり



播磨が誇るオンリーワンの酒蔵

山田錦のふるさと、播磨には数多くの個性的な「オンリーワン」の酒蔵が点在しており、その数は20軒を超えます。

播磨は良質な山田錦の生産地であると共に播磨五川の質のいい水にも恵まれ、自然も多く空気が澄んでおり、日本酒造りに最適な土地です。長い歴史の中で日本酒造りの技が極められ、同時に伝統を守ることで日本酒のふるさと播磨のブランドを守り続けてきました。毎年開催される全国新酒鑑評会でも高い評価を受けており、これまでたくさんの人賞作を発表しています。

酒蔵はそれぞれにこだわりを持っており、先祖代々受け継がれる手法を守る酒蔵、手作りにこだわる酒蔵、新しい日本酒の楽しみ方を提案する酒蔵、米に強いこだわりを持つ酒蔵など、同じ播磨にありながらひとつとして同じ酒蔵はありません。しかし、多くの人に愛される美味しい日本酒を造りたい、という気持ちはどの酒蔵も同じです。

黒田節のモデル 母里太兵衛の出身地

酒は呑め呑め 呑むならば 日本一(ひのめといち)のこの樽を 呑み取るほどに呑むならば これぞ真の黒田武士

この歌詞で有名な「黒田節」は、播磨出身の母里多兵衛(もりたへえ)が福島正則との酒席の贈けに応じ、大盃なみなみに注がれた酒を飲み干した後、秀吉から賜った唯一無二の名槍「日本号」を手に入れて悠々と帰っていったという逸話が元となっています。播磨と酒の関係を物語るエピソードのひとつです。

播磨が誇る、オンリーワン酒蔵

姫路市

- ① 神崎酒造(有)
- ② 名城酒造(株)
- ③ 壺坂酒造(株)
- ④ ヤエガキ酒造(株)
- ⑤ (株)本田商店
- ⑥ 田中酒造場
- ⑦ 瀬菊酒造(株)
- ⑧ 下村酒造店

兵庫県

播磨

山田錦主要作付地

酒蔵リスト

- ⑨ 穴栗市 山陽盃酒造(株)
- ⑩ 穴栗市 老松酒造(株)
- ⑪ 赤穂市 奥藤商事(株)
- ⑫ 加古川市 (名)岡田本家
- ⑬ 稲美町 井沢本家(名)
- ⑭ 稲美町 キング醸造(株)
- ⑮ 明石市 明石酒類醸造(株)
- ⑯ 明石市 江井ヶ嶋酒造(株)
- ⑰ 明石市 茨木酒造(名)
- ⑱ 明石市 西海酒造(株)
- ⑲ 明石市 大和酒造(株)
- ⑳ 三木市 稲見酒造(株)
- ㉑ 加東市 神結酒造(株)
- ㉒ 加東市 大熊酒造(株)
- ㉓ 加西市 三宅酒造(株)
- ㉔ 加西市 富久錦(株)



杉玉が吊るされ風情を感じさせる。



兵庫県特A地区産「山田錦」が実る風景。



日本で唯一の狐山町蔵庫を有する酒蔵。

410余年の歴史を感じさせる佇まい。

はりにまに点在するオンリーワン酒蔵を巡るバスツアーを実施します。

日本酒のふるさと「はりま」を訪ねる旅 1泊2日(モニターツアー) >

(JTB姫路支店ホームページ(2))

和酒ソムリエ・フードアナリスト「あおい有紀」と巡る

日本酒のふるさと「はりま」を訪ねる旅

1泊2日(モニターツアー)

情趣ある酒蔵と新酒を体感

千三百年前に編纂された「播磨国風土記」に、米麴を使った日本酒の製法が初めて登場。原材料となる山田錦の生誕地であり、今尚二十以上の酒蔵が点在する播磨は、日本酒のふるさとです。バスツアーにより、広範囲にわたるオンリーワンの酒蔵を訪れることができます。

ポイント ①



和酒ソムリエ あおい有紀さんがツアーに同行！

兵庫県神戸市出身。航空会社勤務を経てフリーアナウンサーに。現在はフジテレビ「とくダネ!」内の、生CMパーソナリティを務める。一方、食やお酒に関心をもち、一級フードアナリスト、きき酒師、焼酎きき酒師などの資格を取得。食・日本文化を通じた地域活性化に力を入れており、特に日本酒の魅力を伝えたいと数多くのイベントや酒蔵ツアーの企画・主催、講演、セミナー、執筆など幅広く活躍中。

- ・はりま酒文化ツーリズムにて目利き役
- ・日本酒造青年協議会 酒サムライ叙任

ポイント ②



10月のツアーポイント

新酒の仕込み

元禄時代より酒造に就いている本田商店。米にこだわり、「兵庫県特A地区産の山田錦」を使用しています。実際に稲が実る田園を見学し、酒蔵では新酒の仕込みの現場を見る事が出来ます。

12月のツアーポイント

新酒のしぼり

日本でココだけ、田中酒造場にて約500kgの石の重みだけで搾っていく、一般には公開されていない「石掛式天秤搾り」を、今回のツアーでは特別に目の前でご覧いただけます。



イメージ

点在する酒蔵をバスで巡る2日間

酒蔵は播磨に点在しており、個人で巡るには少し大変。今回のツアーではバスで酒蔵までご案内するので、酒蔵をゆっくりご覧いただけます。さらに、普段は近づくことができない作業の様子を見学したり、酒蔵の主人のお話を聞いたり、貴重な体験をしていただけます。

日本酒のふるさと「はりま」を訪ねる旅

2013/10/26(土)出発 1泊2日

ツアーポイント

新酒の仕込み

10/26 (土)	(8:00) 梅田	(8:30) 新大阪駅	○山田錦田圃見学	○神結酒造	○ふく蔵	朝: -
	米の食糧ランキンダにて最高 ラング(特A)受賞の田圃を見学		女性専務のお話。 酒蔵の主人が案内	昼食: 関西120年の歴史酒造の酒蔵を 改装した店内で、素材にこだわったお料理		昼: ○
10/27 (日)	○本田商店	△壺坂酒造	夢乃井	○そうめんの里		夕: ○
	新酒のしこみの現場を見学。 酒蔵の主人が案内 開成で酒づくりを見学	200年間の酒蔵が健在。 現在も醸造に使用	ご宿泊	壺坂酒造の方より 酒と食のお話し。 きき酒大会開催。		朝: ○
10/27 (日)	ホテル	○庭田神社	○酒蔵のある旧街道のまちなみ			昼: ○
	日本酒の発祥地見学	開成で唯一の庭山神社蔵を持つ、山崎酒造。 240余年の歴史を有する老舗酒蔵を見学		昼食: 夢乃井		夕: -
	○ヤエガキ酒造	○江井ヶ嶋酒造				
	日本酒を世界に発信 する酒蔵のお話	いまなお残る 木桶蔵を見学	(19:00頃) 梅田	(19:30頃) 新大阪駅		

○: 入場観光 ○: 下車観光 △: 車窓 になります。

ご宿泊 夢乃井

清流夢前川を眼下に目の
前いっぱいの田園風景を
見ながら渡る露天風呂
をお楽しみください。



■募集人数: 40名様 (最少催行人員30名)
■旅行代金 (おとなおひとり)

4~5名様1室	3名様1室	2名様1室
19,800円	22,800円	25,800円

2013/12/7(土)出発 1泊2日

ツアーポイント

新酒のしぼり

12/7 (土)	(8:00) 梅田	(8:30) 新大阪駅	○山田錦の館	○湯ノ山街道散策	朝: -
	生産者のお話を聞く		現存する稲見酒蔵を見学		昼: ○
12/8 (日)	○福崎もちむぎのやかた	○田中酒造場	銀波荘	○瀬菊酒造 西蔵	夕: ○
	昼食: もちむぎ	低糖の石磨式天祥搾り 酒蔵の主人が案内 開成で酒づくりを見学	ご宿泊	田中酒造の方より 酒と食のお話し。 きき酒大会開催。	朝: ○
12/8 (日)	ホテル	○奥藤商事・坂越まちなみ	○赤穂大石神社		昼: ○
	雪の付いたを撮す 町並み散策と酒蔵見学			昼食: 昭和30年代まで酒樽を運って いた酒蔵で、名物のむぎめしとろう	夕: -
	○姫路城(天空の白鷺)	○井澤本家			
		手造りのお酒にこだわる 酒蔵の主人のお話	(19:00頃) 梅田	(19:30頃) 新大阪駅	

○: 入場観光 ○: 下車観光 △: 車窓 になります。

ご宿泊 銀波荘

2010年に日本随一の景観
と迫力を誇る大浴場「海遊
大浴場」が誕生しました。
料理は新鮮な魚介を中心と
した会席料理が好評です。



■募集人数: 40名様 (最少催行人員30名)
■旅行代金 (おとなおひとり)

4~5名様1室	3名様1室	2名様1室
19,800円	22,800円	25,800円

詳細はチラシを必ずご確認ください (PDF 約1MB) >

申込書面 (PDF 約100KB) >

◆お問い合わせ◆

電話: 079 (289) 2120 FAX: 079 (281) 5545

JTB西日本姫路支店 担当: 横山/竹林 営業時間: 平日9:30~17:30

〒670-0962 姫路市南駅前町100

承認番号:130871 

和酒ソムリエ・フードアナリスト「あおい有紀」と巡る

日本酒のふるさと 「はりま」を訪ねる旅

1泊2日(モニターツアー)

ツアー同行



あおい 有紀

兵庫県神戸市出身。航空会社勤務を経てフリーアナウンサーに。現在はフジテレビ「どくダネ!」内の、生CMパーソナリティを務める。一方、食やお酒に関心を持ち、一級フードアナリスト、きき酒師、焼酎きき酒師などの資格を取得。食・日本文化を通じた地域活性化に力を入れており、特に日本酒の魅力を伝えたいと数多くのイベントや酒蔵ツアーの企画・主催、講演、セミナー、執筆など幅広く活躍中。

- ・はりま酒文化ツーリズムにて目利き役
- ・日本酒造青年協議会 酒サムライ叙任

情趣ある酒蔵と新酒を体感

千三百年前に編纂された「播磨国風土記」に、麹を使った日本酒の製法が初めて登場。原料となる山田錦の生誕地で最大の生産地、そして卓抜した酒蔵が集まる播磨は「日本酒のふるさと」です。バスでゆったり、オンラインワンの酒蔵をのんびりとめぐり、堪能いただきます。



本田商店
10月のツアーポイント
新酒の仕込み

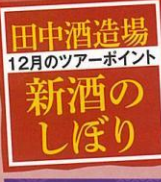
元禄時代より酒造に從事している本田商店。米にこだわり、兵庫県特A地区産の「山田錦」を使用しています。実際に稲が実る田圃を見学し、酒蔵にて新酒の仕込みの現場を見学します。

2013年 **10月26日(土)** 1泊2日
出発日 申し込み期限:10月15日(火)まで

◆【夢乃井 翔鸞館】和室(相部屋希望の方は承ります。)
◆添乗員:同行 ◆募集人数:40名(最少催行人員:30名)

◆旅行代金(おとな1名様)

4~5名様1室	3名様1室	2名様1室
19,800円	22,800円	25,800円



田中酒造場
12月のツアーポイント
新酒のしぼり

日本でココだけ、田中酒造場にて約500kgの石の重みだけで搾っていく、一般には公開されていない「石掛式天秤搾り」を今回のツアーでは特別に目の前でご覧いただけます。

2013年 **12月7日(土)** 1泊2日
出発日 申し込み期限:11月26日(火)まで

◆【銀波荘】和室(相部屋希望の方は承ります。)
◆添乗員:同行 ◆募集人数:40名(最少催行人員:30名)

◆旅行代金(おとな1名様)

4~5名様1室	3名様1室	2名様1室
19,800円	22,800円	25,800円

ホテルでのきき酒大会では、はりま地域に点在する数多くの酒蔵から名だたる名酒が一堂に集まります。

報道機関からの取材が入る場合がございます。予めご了承下さい。ご参加者様には旅行終了後、ツアー全般に関する簡単なアンケート(A4 1枚程度)にお答えいただきます。アンケートにお答えいただいた方には、記念品をお渡しします。

企画協力:播磨広域連携協議会・はりま酒文化ツーリズム協議会

(募集チラシ(裏))

日本酒のふるさと「はりま」を訪ねる旅 コースご案内

◆2013年10月26日(土)～27日(日)1泊2日 ◆朝食1回、昼食2回、夕食1回

10/26 (土)	(8:00) 梅田 (8:30) 新大阪駅 ◎本田商店 新酒のしこみを見学。 酒蔵の主人が案内。 間近で酒つくりを見学。 ◎山田錦田圃見学 米の食味ランキングにて最高 ランク「特A」受賞の田圃を見学。 ◎壺坂酒造 200年前の酒蔵が健在。 現在も醸造に使用。 ◎神結酒造 女性専務のお話。 酒蔵の主人が案内。 ◎ふく蔵 醸造約120年の蔵元酒造 の酒蔵を改装した店内で、 素材にこだわったお料理。 朝:— 昼:○ 夕:○
10/27 (日)	ホテル◎庭田神社◎酒蔵のある旧街道のまちなみ◎そうめんの里→ 日本酒の発祥地見学 ◎ヤエガキ酒造 日本酒を世界に発信 する酒蔵のお話 ◎江井ヶ嶋酒造 いまなお残る 木造蔵を見学。 (19:00頃) 梅田 (19:30頃) 新大阪駅 朝食:膳保乃糸 朝:○ 昼:○ 夕:—

○:入場観光 ○:下車観光 △:車窓 になります。

はりま酒文化ツーリズム
イメージキャラクター
もりっぴい

ご宿泊
塩田温泉「夢乃井」にて、
壺坂酒造の方より酒と食のお話し。
きき酒大会開催。

清流夢乃井川を眼下に目の前いっぱいの田園風景を見ながら
渡る露天岩風呂。星が見える大きなスペースのロビーや海上
が「リヤロン」に映る港が見える星島をイメージした庭園等々。

◆2013年12月7日(土)～8日(日)1泊2日 ◆朝食1回、昼食2回、夕食1回

12/7 (土)	(8:00) 梅田 (8:30) 新大阪駅 ◎山田錦の館 生産者のお話を聞く ◎湯ノ山街道散策 現存する福見酒造を見学。 ◎福崎もちむぎのやかた 歴史・もちむぎ種 ◎田中酒造場 伝統の石掛式天祥擀り 酒蔵の主人が案内。 間近で酒つくりを見学。 ◎銀波荘 夕映えの宿 朝:— 昼:○ 夕:○
12/8 (日)	ホテル◎奥藤商事・坂越まちなみ◎赤穂大石神社◎灘菊酒造 西蔵→ 音の行まいを残す 町並み散策と酒蔵見学 ◎姫路城(天空の白鷺)◎井澤本家 手造りのお酒にこだわる 酒蔵の主人のお話 (19:00頃) 梅田 (19:30頃) 新大阪駅 朝食:昭和30年代まで酒母を造って いた酒蔵で、名物のむぎめしとろろ 朝:○ 昼:○ 夕:—

○:入場観光 ○:下車観光 になります。

ご宿泊
赤穂温泉「銀波荘」にて、
田中酒造場の方より酒と食のお話し。
きき酒大会開催。

雄偉に面した赤穂御城の先頭に建ち、神戸の良々の眺望が
楽しめる絶景の宿です。2010年10月日本酒造りの重要
遺産を誇る大浴場「海遊大浴場」が誕生しました。料理は瀬戸内の
前どの新鮮な魚介を中心とした会席料理が好評です。

ご旅行条件(要約)

お申し込みの際は、必ず旅行条件書(全文)をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上お申し込みください。

募集型企画旅行契約

この旅行は(株)JTB西日本(大阪府大阪市中央区久太郎町2-1-25 観光庁長官登録旅行業第1768号、以下「当社」といいます。)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業務取扱型企画旅行契約の部によりします。

旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、下記のお申込金を添えてお申し込みください。お申込金は、旅行代金お支払の際差し引かせていただきます。
- (2) 電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払をしていただきます。
- (3) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したとき成立するものとします。
- (4) お申込金(おひとり)6,000円

旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって13日目に当たる日より前(お申し込みが期間の場合は当社が指定する期日まで)にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なしで旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

旅行代金のお支払い

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日		取消料(お1人様)
旅行開始日の前日から 起算してさかのぼって	1. 21日目にあたる日以前の解除(日帰り旅行にあっては11日目)	無料
	2. 20日目(日帰り旅行にあっては10日目)にあたる日以降の解除(3～6を除く)	旅行代金の20%
	3. 7日目にあたる日以降の解除(4～6を除く)	旅行代金の30%
	4. 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%
	5. 当日の解除(6を除く)	旅行代金の50%
	6. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

旅行代金に含まれるもの

旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金(注釈のないかぎりエコノミークラス)、宿泊費、食代、及び消費税等諸税。これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。(コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含まれません。)

「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員(以下「会員」といいます。)より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受けること(以下「通信契約」といいます。))を条件に申込を受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。(受託旅行業者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行業者により異なります。)

- (1) 契約成立は、契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき(e-mail等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様の到達したとき)とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等をお知らせください。
- (2) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

個人情報の取扱いについて

- (1) 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。
- (2) 当社は、旅行先でのお客様のお買い物の便宜のため、当社の保有するお客様の個人情報と土産物店に提供することがあります。この場合、お客様の氏名及び搭乗される航空便名等に係る個人情報をお知らせする電子的方法等で送付することによって提供いたします。なお、これらの個人情報の提供の停止を希望される場合は、お申込に出発前までにお申し出ください。

旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2013年9月1日を基準としております。又、旅行代金は2013年9月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。当社は異なる場合も旅行の再実施はいたしません。

旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に際し、担当者からの説明にご不明な点がありましたら、ご遠慮なく下記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。

【旅行企画・実施】JTB西日本

〒541-0056
大阪府大阪市中央区久太郎町2-1-25
観光庁長官登録旅行業第1768号
一般社団法人日本旅行業協会正会員

【お問合せ・お申込み】

JTB西日本姫路支店 〒670-0962 姫路市南駅南町100
TEL:079(289)2120 FAX:079(281)5545 営業時間:9:30～17:30(土日祝休業)
総合旅行業務取扱管理者:竹村 健次 担当者:横山/竹林

(9月19日ウーマンライフ大阪帝塚山版)

(9月19日ウーマンライフ大阪北西版)

(9月19日ウーマンライフ奈良版)

(9月27日ウーマンライフ大阪キタ版)



和酒ソムリエ・フードアナリスト 「あおい有紀」さんと巡る

日本酒のふるさと 「はりま」を訪ねる旅。

情緒ある酒蔵と播磨の名酒を満喫

1泊2日
モニターツアー

イッという日本酒がおいしい季節になりました。各地に酒処があります。が、廻る現在の日本酒の製造方法が記されている日本最古の文献が1300年前編纂の「播磨国風土記」であり、原料「山田錦」の原産地も播磨。まさに「播磨」は日本酒のふるさとなのです。

そんな「播磨」の酒蔵を見学できるのが、「和酒ソムリエ・フードアナリスト」の「あおい有紀」さんと巡る日本酒のふるさと「はりま」を訪ねる旅「1泊2日」です。いくつもの個性的な蔵元を「はしご」して、10月のツアーは「兵庫県特A地区の山田錦」が実る田と元禄時代より続く「本田商店」の新酒の仕込みを、12月のツアーは「田中酒造場」にて一般見学できるのとはとても貴重な体験です。日本酒の甘い香りを感じながら、普段は見られない酒蔵を見たり、「ご主人の話」を聞けるのは、このツアーならではの醍醐味！白壁やレンガの煙突など歴史ある景観の中を歩くのも落ち着きます。お宿では「きき酒大会」も開催。播磨地区の酒蔵から名だたる銘酒が集まります。

「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業」として播磨広域連携協議会・はりま酒文化ツーリズム協議会の企画・協力の下JTB西日本姫路支店が企画した究極のツアー。10月・12月、各1回きりのチャンスをお見逃しなく！

旅行期日 2013年 **1泊2日**
10月26日(土)
ツアーポイント
本田商店 新酒の仕込み

(8:00) 梅田 = (8:30) 新大阪駅 = ○山田錦田園見学 = ○神結酒造 = ○ふく蔵 (昼食) = ○本田商店 = △豊坂酒造 = 里湯ひととき夢乃井 (泊)
ホテル = ○庭田神社 = ○酒蔵のある旧街道のまちなみ (山陽酒造、老松酒造) = ○そうめんの里 (昼食) = ○ヤエガキ酒造 = ○江井ヶ崎酒造 = (19:00 頃) 梅田 = (19:30 頃) 新大阪
朝食1・昼食2・夕食1
◆【夢乃井 翔鶴館】和室(相部屋希望の方承ります。)
※申込期限:10月15日(火)まで

旅行期日 2013年 **1泊2日**
12月7日(土)
ツアーポイント
田中酒造場 新酒のしぼり

(8:00) 梅田 = (8:30) 新大阪駅 = ○山田錦の館 = ○湯ノ山街道散策(稲見酒造) = ○福岡もちむぎのやかた (昼食) = ○田中酒造場 = 夕映えの宿銀波荘 (泊)
ホテル = ○奥藤商事・坂越まちなみ = ○赤穂大石神社 = ○灘菊酒造西蔵 (昼食) = ○姫路城(天空の白鷺) = ○井澤本家 = (19:00 頃) 梅田 = (19:30 頃) 新大阪
朝食1・昼食2・夕食1
◆【銀波荘】和室(相部屋希望の方承ります。)
※申込期限:11月26日(火)まで

◆添乗員:同行 ◆募集人数:40名(最少催行人員:30名) ◆旅行代金(おとな1名様)
○:入場観光 ○:下車観光 △:車窓 になります。

4~5名様1室	3名様1室	2名様1室
19,800円	22,800円	25,800円

お問合せ (株)JTB西日本 姫路支店 tel.079-289-2120
お申込み
姫路市南駅前町100 9:30~17:30、土日祝休 FAX.079-281-5545 総合旅行業務取扱管理者:竹林健次
【旅行企画・実施】JTB西日本 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25
観光庁長官登録旅行業第1768号 一般社団法人日本旅行業協会正会員
さらに詳しい情報はこちら! <http://www.jtb.co.jp/shop/himeji/>
詳しい旅行条件を記載した書面をお渡しいたしますので、ご確認の上、お申込みください。

感動のそばに、いつも。

130934

●『酒蔵ツーリズム日本酒セミナー』におけるPR

ワイン教室（Jプレゼンスアカデミー主催）の講座として、「酒蔵ツーリズム日本酒セミナー」が実施された。「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業」のモニターツアーの中で酒蔵ツアーを行う4地域のお酒や地域のおつまみを味わいながら、地域で取り組んだモニターツアーの案内を行うものである。第4回の講座のうち、播磨地域は第2回目として実施した。

【酒蔵ツーリズム日本酒セミナー 第2回 播磨の日本酒】

日時：2013年10月4日（金） 19：00～20：30

会場：Jプレゼンスアカデミー 研修センター（東京都内）

講師：白鷺の城 田中康博

内容：播磨地域の酒の紹介、地域の酒・おつまみの実食、モニターツアーの案内

①実際に、播磨地域の6の酒蔵の日本酒を持参し、実際にあじわったいただき、観光素材や食といった地域の魅力の情報発信を行った。

②「はりまの酒蔵」の特徴を説明することにより、現地でしか体験できない希少価値のモニターツアーのPRを行った。

(3) モニターツアーの催行

第1回モニターツアーを10月26日～27日(1泊2日)参加人員37名にて催行した。
(※サンテレビ 21:30「NEW SPORT」にてモニターツアー取材を放映。モニターツアーにて きき酒大会開催。21の蔵のお酒が並ぶ。)

第2回モニターツアーを12月7～8日(1泊2日)参加人員34名にて催行した。

(モニターツアーの様子)

①10月26日～10月27日 日本酒のふるさと「はりま」を訪ねる旅
新酒のしこみの現場を見る。

1日目／山田錦 田んぼ(秋津)

神結酒造



ふく蔵

ふく蔵(昼食)



本田商店



夢乃井



2日目／庭田神社



山陽盃酒造



酒蔵のあるまちなみ



老松酒造



そうめんの里（昼食）



江井ヶ嶋酒造



②12月7日～12月8日 日本酒のふるさと「はりま」を訪ねる旅

新酒のしぼりを見る。

1日目／山田錦の館



湯ノ山街道（稲見酒造）



もちむぎの館（昼食）



田中酒造場



銀波荘



2日目／奥藤商事



赤穂大石神社



灘菊酒造



西蔵



井澤本家



第4章 業務遂行中における業務内容に関する報告

1. 取組の進捗状況の報告

取組の進捗状況について、2週間に1回期間中合計21回、指定様式に基づき近畿運輸局に報告した。

取組内容は、以下のとおり。

①酒蔵関係諸機関人的ネットワーク構築

○播磨広域関連協議会・4酒造組合との調整・打合せ

事業の核の関係者となる播磨広域関連協議会・4酒造組合とのネットワークを構築する為に、調整・打合せを重ねた。事業の進め方を相談・報告し、旅行商品造成素材のヒアリング等を行なった。また、モニターツアーの実施に向けて、受け入れに関する打合せ等を行なった。

○キーパーソン集会

5月17日に姫路市民会館にてキーパーソン集会を開催した。各自治体、酒蔵組合、宿泊関係、旅行業者等が参加し、外部キーパーソンより先進的事例の紹介や提言を行い、今後の事業に一体して取り組んでいくことを確認した。

○モニターツアー受入れ酒蔵の調整・打合せ

モニターツアーの受入酒造として、ヤエガキ酒造、井沢本家、江井ヶ嶋酒造、奥藤商事、山陽盃酒造、老松酒造、本田商店、壺坂酒造、灘菊酒造、名城酒造、神崎酒造、田中酒造場、富久錦、神結酒造、岡田本家などをそれぞれ訪問し、事業説明、各酒造現状のヒアリング等を行なった。またツアーの実施に当たっては、ツアー情報発信のお願い、受け入れ内容についての打合せ等を行なった。

②モニターツアー開発、広報

○モニターツアー企画

モニターツアーの企画に当たっては、まずはモニターツアー素案を作成し、関係者への相談・打合せを経て、企画を行なった。詳細の内容については、受入酒造との調整を踏まえて決定した。

○モニターツアー広報

下記のとおり、モニターツアーの広報を行なった。

- ・モニターツアー募集チラシの作成
- ・ウーマンライフ大阪帝塚山版にてモニターツアー紹介
- ・ウーマンライフ大阪北西版にてモニターツアー紹介

- ・ウーマンライフ奈良版にてモニターツアー紹介
- ・ウーマンライフ大阪キタ版にてモニターツアー紹介
- ・『酒蔵ツーリズム日本酒セミナー』におけるモニターツアーのPR
- ・「はりま酒文化ツーリズム」パンフレットの作成
- ・ABCラジオにおける「はりま酒文化ツーリズム」紹介
- ・ノジュール「はりま酒文化ツーリズム」紹介
- ・フリーマガジン神戸WOMAN「はりま酒文化ツーリズム」紹介

○モニターツアー催行

- ・モニターツアー催行(10月26日27日37名にて催行)。サンテレビ21:30「NEW SPORT」にてモニターツアー取材を放映。モニターツアー宴会にてきき酒大会開催。21の蔵のお酒が並ぶ。
- ・12月7～8日1泊2日モニターツアー催行(参加人員34名)

③JTB 商品造成、店舗活用の展開

国内商品事業部とのミーティングを受けて商品戦略、団体・個人商品の商品コンセプトを検討した。地域協議・社内協議を重ねて、はりまの酒宿泊商品の具体的な造成に関して、商品概要、設定効果、宿泊プラン内容、販売促進方法のすりあわせ、各施設へのプラン造成依頼を行ない、商品造成を行なった。

④マーケティング調査・WEB構築

○マーケティング調査

マーケティング調査アンケートの校正、配信、集計を行なった。

○WEB構築

- ・はりま酒文化ツーリズムのホームページを作成した。
- ・JTB 国内観光プラン、姫路支店 HP 展開を行なった。
- ・JTB ホームページ 国内観光ガイドへのバナーアップ。
- ・JTB ホームページ 現地観光プランウオレットシステム構築。
- ・神姫バスツアー イベントチケット JTB 現地観光プランWEB構築、販売。

⑥プロモーショングッズの作成

PR GOODS として次のものを企画・制作した。

- ・着ぐるみ
- ・酒蔵マップ

- ・官兵衛盃
- ・トートバック
- ・手ぬぐい
- ・ボールペン

⑥事業全体

○イベント対応

- ・近畿の魅力ある観光地PR展に出展（大阪駅旧砂時計広場前）
- ・観光庁「タビカレ学園祭」に出展（東京ビッグサイト）

2. 新聞、テレビ、雑誌等のメディア紹介

	媒体名	掲載日	掲載面・番組名・備考
テレビ	サンテレビ「NEWS PORT」	2013 年 10 月 31 日 21:30～22:00	
フリーマガジン	フリモ姫路	2013 年 11 月 18 日	ばやこ新聞
雑誌	醸界春秋	2013 年 11 月号	4 頁
新聞	神戸新聞	2013 年 9 月 11 日	朝刊 26 面
新聞	日経新聞	2013 年 9 月 18 日	朝刊 31 面
新聞	神戸新聞	2013 年 10 月 5 日	朝刊 21 面
新聞	日経MJ	2013 年 10 月 7 日	朝刊 4 面
新聞	トラベルニュース	2013 年 11 月 10 日	朝刊 7 面
新聞（Web）	姫路経済新聞HP	2013 年 12 月 14 日	

（サンテレビ「NEWS PORT」 2013 年 10 月 31 日 21:30～22:00）

JTB西日本姫路支店が「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業」として取り組んだ、はりま酒文化ツーリズムモニターツアー「酒サムライ あおい有紀氏とめぐる 日本酒のふるさとはりまを訪ねる 1泊2日」の様子が紹介された。

ばやこ新聞

日本酒の歴史は
この泉から始まった!



vol.14

10月3日姫路市で「日本酒振興条例」が可決されました。これにより、乾杯は日本酒で、という流れを盛り立て、「播磨は日本酒のふるさと」という位置づけを広く国内外に発信しようという動きが活発になってきました。

みながら日本酒について無知のばやこ。地元のお酒のことはつておかねば。」と張り切って参加してきました。

なぜ「播磨地域が日本酒のふ



最高級酒米「山田錦」
の中でも最高峰の特
米を生産されている
都倉英昭さん。

協議会・旅行会社・JTBの協力
で企画されたのです。姫路に住
みながら日本酒について無知
のばやこ。「地元のお酒のこと
は知っておかねば!」と張り
切って参加してきました。



酒米の大切さについて本田商店の会長
本田武義さんから丁寧に教わりました
米の生産地による味・香りの違いを利
用で確かめて…驚き！

日本酒初心者・ばやこが行く!
「はりまの酒蔵めぐり」は
楽しいで♪」の巻

日本酒をほとんど飲んだことがないばやこの
「はりまの地酒はすごい!」という噂を信じ
はりまの酒蔵めぐりツアーに参加してきました!

ばやこ新聞とは？

見たがり知りたがりの編集者、通称「ばやこ」が毎月、姫路に立つ人物や場所を取材して、思いのままに新聞にしたコーナーです。新聞記者歴やっとな、これからがんばります！応援してくださいね♪

ばやこ新聞 vol.14



ばや二が参加した
酒蔵めぐりツアー日程

- 山田通達・田園見字
 - 神足通達・通鳳見字
 - 富太・錦・小く蔵・唐使
 - 木田商店主・通達の仕度見字
 - 壹夜通達・通鳳座席手紙・物
 - 夢乃井・付て知る・通大倉・遠泊
- 2日**
- 鹿田神社・日本酒製精造見字
 - 山陽通達・光乳通達と旧作通達あり
 - アツメの里で信書
 - アツメの里に上野通達
 - 氏代さんへ上野室内
 - 三井・崎通達・通鳳見字
 - 三井・崎通達・通鳳見字
 - 冬・の通達とてらるゝ御覽・そのあひ



旅館ではなんと、21歳21種を飲み比べ！少量をゆっくり味わえば酔いも少ないことや、食事との相性の良さなど、日本酒の奥深さについて、ツアー同行の和酒ソムリエ・あおい有紀さんに教わりました。本当に楽しい旅でした♪

問い合わせ JTB西日本姫路支店
TEL.079-289-2120 平日9:30~17:30
姫路支店設け時間100

今回は大阪発の1泊2日のツアーに特別に参加させていただきました。姫路発と加古川発の日帰りツアーもあるのでぜひ問合せを！



「ワエカキ通造の杜氏・
田中博和さんはなんと昨今
「現代の名工」に選ばれたそう。
とうございませう！」



性的な酒を産み出す酒蔵が多
く現存すること③米から酒が
できるという最初の発見が「播
磨国風土記」に記述されている
ことつまり播磨が日本の酒文
化を支えているのです！

酒造り見学のあととは、
「こんなに香りも味も違
う」のツアアでは、姫路市だけ
でなく加東市・加西市・六栗市・
明石市の蔵を巡り、酒造りに携
わる各蔵のみなさんから、日本
酒の造り方、自社のこだわり、
なぜ美味しくなるか水・米・麹
の話など、「日本人の社会見学」と
いう雰囲気でお勉強。造り手の
顔が見え、原材料や製造過程を
知ることが、試飲の際は安心し
てワクワクして、また味わうこ
とができました。

酒造り見学のあとは試飲・試飲・試飲！
「こんなに香りも味も違うの!？」と感動



最後に見学した江井ヶ嶋酒造では、日本酒はもろみ梅酒・ブランデー・ワイン・ウイスキーなど試飲でき、ツアー参加のみならず大興奮の様子。



酒蔵を案内する朴室長(写真手前)
山田錦の稲穂を手にも本田会長(下)

「はりま」の酒蔵を訪ねて
JTB西日本が初のモニターツアー

りまツーリズム協議会と酒蔵が協力した。

山田錦の稲穂を手にした本町☆(下)

は若い女性。新大阪駅をへて出立したのは、今回の参加者は39名。そのうち6人、大和の一行は兵庫県三木市吉川地区の山田錦一を栽培する田んぼを見学し、二ツツアーに出迎えたのは本町商店の本町



「龍力」の銘酒に酔った試飲会

同社の見学では、酒屋の仕込みを見学。参加者からは「酒造りってさうみは違うの？」など熱心な質問も。

酒見学の後は「秋津」や「上三草」など同社で慢磨の銘酒5品の試飲を兼ねし、「宿泊の塩田川泉郷乃井」ではきき酒大会もあわれ、翌日は「エガチ西酒造」江井ヶ崎酒造を見学したが、「J.B.西酒造」では、播磨地方は日本発祥の地、これから日本酒をテーマにしたツアーを企画。来年には「酒」の地域を日本酒のふるさととし、地元の皆さんにも協力して広めたいとしている。

山田錦は酒造界でも増え続けているが、産地別に異なるなど、兵庫県産の山田錦は遠いあたりなど、大阪市の自給をユーモア的に説明。

兵庫県姫路市をはじめ播磨地区の21市町でつくる播磨広域連携協議会は

酒蔵など巡る滞在型に
モナリッアを10月に
始める。地区内の4酒造
組合や1日西日本と組
み、新潟の仕組みや搾り
の光景を見学できるよう
にする。

10月26日、12月7
・8日の2回開催。10月
は本田商店（姫路市）で
新潟の仕組みを、12月
は田中酒造（同）で新潟
の搾りをそれぞれ見学で
きる。参加人数は限40
人。参加費は2人で1
部屋に泊まった場合で2
万8000円。2014
年度以降も順次企画す
る。

協議会は12年9月から
日勃バツアアを9回
実施し、計322人を集
めた。1泊2日の滞在型
ツアーにうち2回で県外
な遠方からの誘客も狙
う。将来はシアなど酒
外からの集客にもつな
げる考えだ。

JTB、1泊2日のツアー企画

JTB、1泊2日のツアー企画

携遊組合や、四つの特温泉、夢乃井（姫湯沼組合）や、十石西日温泉と企画した。

10月26・27日（土）
市。募集は各回40人。1泊4食付きで、1人1万9000円・2人2万8000円。大阪・梅田地区と新大阪駅を出発し、貸し切りバスで移動。11月1日姫路支店へ下山を巡る。

079・2889・2120

（山崎史記子）

姫路酒造組合の田中氏講演

「感激イリヌム」
 に取り組む地域を紹介
 すべをテーマに4日、
 東京都庁で開かれ、延
 路酒造組合の田中康博
 理事長が、雪見右右衛門が講
 師を務めた。首都圏の
 愛飲家、約20人に開催
 の日本酒振興会、舞いな
 がら、地域魅力を語
 った。

東京の人材教育会社
 の主催で3回目。観光・強
 庁が観光地の再建・強

[illegible]

播磨の酒文化を訪ねて

JTB モニターツアー開く

JTB西日本(高松広地の再建・強化事業に
行社)が10月26・27日 選定されたもので、播磨
に催したモニターツアー 地域12市町でつくる播磨
一日本酒のふるさと 広域連携協議会、同地
『はりま』を訪ねる 城の4酒蔵組合で構成す
旅。最高級酒米として 名高い山田錦の産地・兵
車県播磨地方の酒蔵をめぐって名酒を堪能。地
の酒文化の神髄に触れる。山田錦の生産を手掛
「酒蔵ツーリズム」だ。本酒のふるさと「播磨は日
本酒のふるさと」を地
「酒蔵ツーリズム」だ。本酒のふるさと「播磨は日
本酒のふるさと」を地
「酒蔵ツーリズム」だ。本酒のふるさと「播磨は日
本酒のふるさと」を地



試飲で味くらべ (江井ヶ嶋酒造で)

を伝える。

ツアーには関西圏の中

心は34人が参加。女性が多かった(同支店・
多く、若い世代の参加も 横山隆之さん) そとで
目立った。コアな日本 幅広く播磨の酒文化を地
酒ファンというよりも 域の魅力を伝えたとい
「ちょっと日本酒に興味 うツアー趣旨に沿った参
加者があった」という参加者

大阪を発着地、まず は加東市秋津の山田錦を 生産する田代は見学。 2日間同市・神緒酒 造、姫路市・本田酒造、 播磨酒造など多くの酒蔵 所を訪れ、古い酒蔵見学 と試飲を楽しむという行 程で、宿泊地の塩田温 泉・夢乃井では和酒ソム リエ・フードアナリスト のあおい有紀さんによる ミニ講座と和酒大会も 行い、日本酒の世界にと づいて語った。

蔵で酒造る。日本 が飛び交っていた。 たいへんありがたい。 同酒造の風景は基本 で数軒しかないウイスキ ーの蒸留も手掛けてお り、参加者は興味深々見 曜の今回は特別に、播磨の 学していた。参加者は少 平石幹郎社長は「播磨の 酒文化を伝えてもらいた り、試飲のことは「日 いと思ひ受け入れさせて いる」「濃い」「すっきり もらった。日本酒に興味 している」な弾んだ声 をもってもらった。 売は好評だそうだ。

姫路支店・横山さんは 「酒造りのひとつのコン テンツとして可能性を探 る」と企画しました。姫 路は来年の大河ドラマ 『黒田官兵衛』ゆかりの 地ですので、これら地元 素材と酒蔵を絡めたいで すね」と話していた。

JTB USJとパートナー契約

JTB(田川博己社 長)は、2014年後半にオ ーブン予定の「ハリー ー企業となり、素直に降 に売り出すUSJのバツ 計画されている。 今後はUSJの顧客誘 引力と、企画を海外 各地に張り巡らされた JTBのネットワークをラ 活用して「強力なタッ プ」で、個人旅行のみならず法人団体、教育旅行、 旅行会社 しめる限定ツアーの旅 約を締結した。旅行会社

最後に訪れた明石市、 江井ヶ嶋酒造は明治創業 の老舗で、今も伝統の酒 行パッケージを開発す

搾りたての新酒、飲み比べて笑顔―播磨の酒蔵巡るバスツアー好評

2013年12月14日

ツイート 13

いいね! 26

g+ 26



同ツアーでは、姫路ゆかりの戦国武将・黒田官兵衛の家臣で酒豪として知られる「母里太兵衛」がモデルのゆるキャラ「もりりい」が公式デビューを果たした。田中酒造場（姫路市広畑区本町3）で。12月7日

Q 写真を拡大



Q 地図を拡大

JTB西日本姫路支店（姫路市南駅前町）が提案する着地型旅行商品「日本酒のふるさと『はりま』を訪ねる旅」が12月7日・8日、ツアーの商品化を視野に入れモニターを募る「モニターツアー」として1泊2日で催行された。

非公開の酒蔵内部などを見学

ツアーには兵庫県南西部の播磨地域21市町から成る「播磨広域連携協議会」と同地域の4酒造組合が地元産日本酒の地域ブランド化を目指して連携する「はりま酒文化ツーリズム協議会」などが協力。文化庁の肝いりもあって旅行業者らが開発に取り組む「着地型旅行商品」の先駆けとして10月と今回の2回にわたり

大阪発のバスツアーを仕立て、それぞれ1泊2日の行程で播磨各地に点在する酒蔵を巡った。

10月のテーマは「新酒の仕込み」。「龍力・本田商店」（網干区高田）など今シーズンの新酒づくりに入ったばかりの酒蔵7カ所を訪問するとともに酒造好適米「山田錦」を栽培する田にも足を運んだという。

今回のツアーは「新酒のしぼり」をテーマに実施。搾りたての新酒を試飲できる内容とした。大阪や奈良、東京などから参加したツアー客約40人が訪問した酒蔵は5カ所。7日に訪問した「田中酒造場」（広畑区本町3）では、今日が公式デビューという「はりま酒文化ツーリズム」のキャラクター「もりりい」が出迎える中、特別なはからいで蔵へ入り、てこの原理を応用する「石掛け式天秤（びん）」による搾り工程を見学した。

同工程は戦後途絶えていたところを同酒造場が2000年ごろに復活させたという伝統手法。長さ約6メートルあるケヤキ製の棒に石をつり下げることで「もろみ」の袋にゆっくりと圧力を加え、3日がかりで酒を搾る。試飲に参加したツアー客らは一般的な工法の酒と飲み比べながら「味に円みを感じる」「余計な味わいがしない」などと感想を話し合っていた。

見学を終え赤穂市の宿に到着した一行は、夕食の席に設けた「利き酒大会」にも参加。播磨一円の酒蔵18カ所が提供した自慢の酒を存分に味わい、翌8日は「灘菊酒造」（手柄1）で昼食を楽しむなどツアーを満喫し、帰途へついた。

同行したフリーアナウンサー・あおい有紀さんは「いずれの蔵にもその土地ならではの自然を相手に酒を醸す姿があった。物語のように思い浮かべながら杯を傾けていただくと、より一層酒を楽しめるのでは」と話し、ツアーを締めくくった。

同様の酒蔵巡りは神姫バスツアー（姫路市）も企画。来年1月から3月にかけて日帰りツアーを設定し、参加者を募集している。

3. 効果指標の設定とその効果

設定指標：はりま酒文化ツーリズムのFACEBOOKへのアクセス数

理 由：代表的なSNS. はりま酒文化ツーリズムへの興味を図る指標となる。

効 果：アクセスが事業開始前 600 から現在 1200 まで倍増

設定指標：播磨美酒・美食の宴 はりま一合一会 集客数

理 由：播磨地域の酒をPRする代表的なイベントである。

効 果：集客増：600名→800名

その他：

○神姫バスツアーが当初集客に苦しんだものの、事業開始後地元を中心に1カ月に1回バス1台の集約を安定してできるようになった。

○関連イベントの実施：1000人で乾杯（3/8）

○メディアでの取り上げ：dancyu 3月号